
遊戯王GX ルールを守って楽しく決闘！

雷光

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

遊戯王GX ルールを守って楽しく決闘！

【Nコード】

N3776Z

【作者名】

雷光

【あらすじ】

目が覚めたら遊戯王の世界にいた…
やだよこの世界の禁止制限リスト、これだったら現実世界の禁止制限リスト使ってデュエルしてやる！！
正々堂々、やる！！それが俺の主義だ！！
注意！！（作者は初心者です。さらにご都合展開がありますのでそれが苦手な方は今すぐお戻りください）

第1話 始まりの前の始まり（前書き）

無謀なる同時更新！！

第1話 始まりの前の始まり

目が覚めたらどこかの家で横になってた。

俺高校卒業して就職先探してたはず何だけども…
まあいいか。気晴らしにテレビでも見よう。

『ただいまアメリカからKC社長、海馬せ』ピッ

『皆様！！見てください！！あの決闘王武藤遊戯使ってカー』ピッ
デュエルキング

『ダイナソー竜崎選手！！ここで速攻魔法【突進】を発動！！【メガザウラー】の攻撃力を上げ【グレートモス】を倒しインセクター
羽蛾を倒しま』ピッ

……まさかこれは二次創作である転生とか憑依というものか！？
てか竜崎、羽蛾に勝ったんだ。

しかし来た世界は遊戯王か…とりあえず今の時期調べよ。

3時間後

時期は遊戯王GXの始まり1週間前か…
てか調べて思っただけどこの世界の禁止制限ゆる！！
禁止カードはノーコストでフィールドのカードを破壊する、モンスターと魔法…何故罷が無い？

でもまあ、現実世界でもやだからわかるんだけどさすが制限は緩すぎ！！

何で【生還の宝札】【リビデ】がかかんねえの！？
未来融合も制限じゃないし！？

こんな禁止制限で勝ったて嬉しくねえよ…

…よしこれならオリジナルの禁止制限作ったほうがいいな

5時間後

できた！！よし自分が作ったこの禁止制限リスト結構いいな。現実世界の禁止制限リスト9月1日適応にこの世界の禁止制限リスト、さらにアニメ、ゲーム、漫画の壊れオリカは禁止。それでもほかのオリカは制限行きだけだね。

これでも1k i l l デッキ作れるから大半は遊びデッキにするけど

さあてお次はカード、カード…って多いな…

少し調べるか

……とりあえずわかったことは全部のカードがあること。

しかも【オレイカルコス of 結界】や三幻神、三幻魔、地縛神、No .
カードといった危ないカードまである。これは速攻で別のトランクに入れ厳重に保存…

ああー、後、エクシーズやシンクロどうしよう…

これは後でいいか。

受験当日

よし、デッキはいっぱい作ったしシンクロやエクシーズのデッキも一応作つといた。
では受験会場に行こう!!

第1話 始まりの前の始まり（後書き）

スマフォうちずらい…

第2話 記念すべき初決闘（前書き）

どうも雷光です。

遊戯王は進む、進む！ 原作があるからストックがたまる。

そして最初の最強カードはこれだ！！

??? 「最強カードは永続魔法【冥界の宝札】。このカードは自分が2体以上のリリースを必要とモンスターをアドバンス召喚した時デッキからカードを2枚ドローできる！」

作者はこのカード好きですよ。紹介ありがとう、主人公！

第2話 記念すべき初決闘

さて、早速試験会場について筆記試験やってんですが……

「簡単すぎるだろ……」

あまりにも簡単すぎて声に出ちまったよ……まず第1問目

第1問

あなたが通うデュエル・アカデミヤのオーナーは？

これ知ってなかったら結構失礼だろ……かの有名なあの人はよ？
ブルーアイズ
そう青眼を使うあの人はよ
次もひどいなー

第2問

【強欲な壺】の効果？

みんなわかるよー！！2枚ドローするんだよー！

第3問

現在プロリーグの1位は誰でしょ？

……あー誰だっけ？確か青血さんを盗んだ人でしょ？でも名前わかんないからパス
まあこっからはわかって当然のやつがでてきたね。一部ビクリしたのあるけど…それは何って？それは…

第36問

【黒魔導師クラン】が被っている頭巾の動物は何でしょう？

知るか！！こんなもの【なぞの手】並にわかんねえぞ！？

実技試験会場

はい、とりあえずそれなりにやりました。俺の受験番号は22番…
…俺はシャークじゃねえぞ。2が来たって全然不幸な事なんておき
なえよ

『受験番号22番【宗野そつの魁かい】さん。2番の決闘場デュエルフィールド』

呼ばれてので早速ゴー！！

「あなたが宗野魁さんですね」

「はい！」

俺の目の前にいるのはメガネを掛けた知的感を放ってる人……うん、こいつは雑魚だ

強い奴って大抵メガネ掛けないし見た目からして頭よくなそうな奴が強いって結構あるからな！

ディスク構えて準備、準備…

「では始めましょう」

「はい」

「「^{デュエル}決闘！！」」

先攻は俺からだ！

「俺のターン、ドロー！魔法発動【手札断殺】を発動！お互いの手札を2枚捨て2枚ドローする！俺が捨てるのはこれだ！」

魔轟神ソルキウス

レベル・ステイラー

「なら私も2枚捨て2枚ドロー」

「そしてドロー。リバースカードを4枚セットしてターンエンド」

「手札交換しモンスターを出さずリバーズカードだけでターンエンド？手札事故かい？」

ははははははと笑う試験官、あざ笑うほかの受験生達……まあ、確かに軽く事故ってるからな。でもそんな笑い声を後で黙らしてやる

「私のターン、ドロー！【メカ・ハンター】を召喚！さらに装備魔法【デーモンの斧】を装備！これで【メカ・ハンター】の攻撃力は2850だ。そしてさらに速攻魔法【リミッター解除】を発動！これで【メカ・ハンター】の攻撃力は5700だ！」

……さすがに驚いた……まさか原作1話からカイザー亮のサイバーエンドを超えるとは……周りからもあの受験生終わったとかさすが1、2を争う試験官だぜ！とか言ってるし……こいつクロノスと同じくらいなのか……まあこの強さも納得か

「バトル！【メカ・ハンター】で直接攻撃！」
ダイレクトアタック

「相手が直接攻撃した時相手の攻撃を無効にして【バトル・フェーダー】を特殊召喚する。そして相手のバトルフェイズを強制終了させる」

まっ通さないけど

「くっ……リバーズカードをセットしてターンエンド……そしてエンド宣言時【メカ・ハンター】を【リミッター解除】の効果で破壊する（私のセットしたカードはミラーフォース……これであなのすべてのモンスターを破壊する）」

「俺のターン、ドロ―！リバースカードオープン【強欲な瓶】を發動！」

（何をしようがミラーフォースで破壊してやる）

「まだまだ！それにチェーンしてリバースカード一斉オープン。【八汰鳥の骸】【血の代償】【積み上げる幸福】。チェーン処理開始。【血の代償】の効果はライフを500払いこのターンもう一度通常召喚ができる。【強欲な瓶】と【八汰鳥の骸】はカードを1枚ドロ―する。【積み上げる幸福】の効果！チェーンが4以降に発動できカード2枚ドロ―する！さらに永續魔法【冥界の宝札】を2枚発動！【冥界の宝札】は自分が2体以上生贄が必要なモンスターを召喚した時デッキからカードを2枚ドロ―できる」

手札が一気に3枚…試験官の顔何するつもりだって顔になってるがそれはすぐわかるよ！

「墓地の【魔轟神ソルキウス】の効果発動！手札を2枚捨てソルキウスを特殊召喚する！さらにソルキウスのLvを2つ下げ墓地の【レベル・ステイラー】を特殊召喚2体特殊召喚する！」

「そんなモンスターを並べて何をするつもりだい？」

……おい、さすがにここまでやったんだからわかるだろ普通？

「ステイラー2体を生贄に【トラゴエディア】を召喚！【冥界の宝札】2枚の効果で4枚ドロ―！さらに【血の代償】の効果発動！500ライフを払いもう一度通常召喚する！ソルキウスと【バトル・フェーダー】を生贄にしてもう1体の【トラゴエディア】だ！【冥界の宝札】2枚の効果で4枚ドロ―！さらに【トラゴエディア】の

Lvを2つ下げ再びステイラー2体を特殊召喚！500ライフ払いステイラー2体を生贄に【銀河眼の光子竜^{ギャラクサイズ フォトンドラゴン}】を召喚！さらに4枚ドロー！」

「うつ……（まだ大丈夫だ！ミラーフォースがある限り私に負けはない！）」

「さらに銀河眼のLv2つを下げまたステイラー2体を特殊召喚^{ギャラクサイズ}！」

「すまない、ステイラー……恐らくネオスや【スピード・ウォリアー】以上に過労死してるだろうがそれでも勝つためにリリースするわ。
……そんな眼で俺の心に訴えないでくれ、そんな今にも泣きそうな顔やめてくれ……」

「さらに500払いステイラー2体を生贄に再び【銀河眼の光子竜^{ギャラクサイズ フォトンドラゴン}】を召喚！また4枚ドロー！よし来た！速攻魔法【サイクロン】！これでお前のリバースカードを破壊！」

「なっ！？」

破壊したのはミラフォ……ありきたりだな……

「さらに墓地にある光属性【魔轟神ソルキウス】と闇属性【レベル・ステイラー】を除外して【カオス・ソーサラー】を特殊召喚！」

「まさか世界に数枚しかないカオスシリーズまで出てくるとは……」

あれ？そんなレアなカードなのこいつ？以外だな……こいつゴールドシリーズ買って12枚くらいダブってるぞ

ちなみに開闢はつかわないよ。あんなの使ったらこの世界のゲームバランス崩壊するし確か遊戯しか持っていなかったはずだろ？
だとしたら使わない、使わない

「これで終わり！すべてのモンスターで直接攻撃！ちなみに【トラゴエディア】の攻撃力は手札の枚数×600だから攻撃力は6600です」

「そ…そんな馬鹿な…」

試験官 LP-10900

「ありがとうございます」

…さすがにやりすぎたな…周りざわめいてるし中には「あの銀河アイズ眼ってカード海馬社長の青眼に似てないか？」とか言っているやついるし

確かに銀河眼は似てるからな…以後注意しよ

こんなでシンクロやエクシーズ使ったら注目的間違いなs「Lv8【ドラグニティアームズ・レヴァティン】にLv2【ドラグニティファランクス】をチューニング！」「ってなあ！！？

「星と星が10を表し時烈火の炎よりすべてを滅ぼす竜が現れる！シンクロ召喚！焼き尽くせ【トライデント・ドラギオン】！効果でフィールド魔法【竜の渓谷】を破壊し2回攻撃！ツイン・ブレイズ！！」

「うわああああ！！」

…あの女…まさか俺以外でも転生者または憑依者がいるとは…し

かも何の躊躇いもなくシンクロ召喚するとは…周りがざわついてん
じゃねえか！

しかもこっち見たし！！うわぁ…ギャラクゾイス銀河眼使わなきゃ良かった……

しばらくたつた後

……おつ、十代が来た。そんでクロノスとデュエル…
で原作通り進み最後はスカイスクレイパー・シュート…

これで試験は終了か。とりあえず転生者が憑依者かわからないけど
あの女が来る前に退散退散…

第2話 記念すべき初決闘（後書き）

やっぱり遊戯王は速く書きやすいな…

魁「しかしちゃんとほかの小説もかけよ」

わかってます。

では次回予告

デュエル・アカデミヤの入学が決まった魁！

そして試験会場で現れた転生者！

万丈目の誘い？そんなことより転生者が先だ！

次回！【禁止制限適用転生者VS禁止制限否適用転生者】
漢字が多くてすいません。

魁「しかし早速ライバルと戦うとはな」

いいんだよ別に！！次回もお楽しみに！！

第3話 禁止制限適用転生者VS禁止制限否適用転生者（前書き）

どうも雷光です！

3つも同時に書くんだからやっぱり執筆ペース決めないとね！と思っただけ決めました！

魁「執筆ペースは決めておいたか、やっと1つ成長したな」

遊戯王GX 1日1回

白黒学園物語 1週間に1回か2回

リリカルなのは 1ヶ月に1回ぐらい？

……という感じです。まあ、後々変わっていくでしょうけど……これを目安に書きたいと思います。

魁「さて今回の最強カードは！」

【青眼の光龍】…って何で社長のカード？

魁「それは本編を見てくれ。

効果はこのカードは通常召喚できない。自分フィールドに存在する【青眼の究極竜】をリリースして特殊召喚できる。自分墓地のドラゴン族1体につき攻撃力を300ポイントアップする。このカードを対象にする魔法、罠、モンスター効果を無効にする事ができる。

このカードはブリューナクの効果も無効にできるから召喚すれば結構な制圧力を持つぞ」

ただし現環境ではトリシューラで除外、奈落で除外、神宣で無効！最終的には出す前に自分が倒されるからあまり見ないカードだけど

出れば強いよ！

攻撃力も上がれば1killできるし…墓地にドラゴン族が17体
いれば…

魁「夢話だな」

うるせー！！

第3話 禁止制限適用転生者VS禁止制限否適用転生者

後日、合格通知を貰ってデュエル・アカデミヤに通えるんだが……
何故かオシリスレッドでしかも合格通知に手紙が入ってました
手紙の内容は…

入学式の後すぐ校長室に来てください。

鮫島校長

……俺何も悪いことしてないよな…

とりあえず船に乗らなければ話が始まらない
荷物は制服、財布、生徒手帳、アカデミヤの通信端末そしてカード
一応すべてのカードを持ってきたけどさ…やっぱり【オレイカルコ
スの結界】とかそういう危ないカードはやめとくべきだったか？

船が出航……順調に進んでるだがそんな俺の後ろに一人の姿があっ
た…

「少し悩んでるとこ悪いんだけど、ちょっと話があるのよ。転生者
さん？」

そこにはオベリスクブルーの制服を着た、髪が何というか…その…
赤身が掛かったような茶髪いや、茶色身が掛かったような赤ような
感じをした肩に掛かるまでの長さの髪を持った少女がいた…あの時
女か…

「何でしょうか？転生者さん？」

俺も同じような返事して振り返った。さすがに転生者だと隠す事はない。すでに知られてるしあっちの情報も知るためにはまずは交友関係を作らないとな

「とりあえず1つ注意事項。あまり人前で銀河眼ギャラクサイスのような一目見ただけで誰のカードと似ていると思わせるようなカードをつかちゃダメでしょ？」

「そういうあんたこそ普通にこの時代にないシンクロ召喚を使ってるだろ…未来を変えるようなやばい行為をやってるお前よりかはマシだろ」

「確かにそうね」

お互いに睨み合いながら話をする…いつどんなことがあるかわからないから

「……で他に用は？」

「あなたの名前が知りたい。それだけ」

即答ですか…名前を教えずいことはないし教えとくか

「いいよ。俺の名前は宗野魁。あんたは？」

「宗野魁ねえ…私の名前は【天城サクラ】あまじょう以後よろしく」

「……名前の件の関してはツッコんだ方がいいのか？」

「ダメです」

…そうですか、恐らくあのNo.カードを集めるハンターの前世の血筋なんでしょうね……

「それじゃ」

「あれ、本当にそれだけなんだ」

その後スタスタと離れたサクラを見てた…天城って呼びずれえよなあーしかしいなくなると暇だな。もうすぐつくんだけどとりあえず何かしてないと暇だ

「おつ受験番号22番君じゃないか」

何して用かな…デッキ作成？いやこんな人前ではあんなカード見せられないしな。

「22番君聞してるかい？」

「あつ、何でしょうか？」

誰かいたのか…ってあの有名なエアーマンこと 君じゃないか。
あれ？何か名前にモザイクが…

「おーい、そのあんだ！！」

さらに奥からGXの主人公十代が来た…後後ろに翔も

「あんだだろ！実技試験で受験生の中でたった1人だけ10000オーバーキルをだした決闘者^{デュエリスト}って！」

「それにあの銀河眼^{ギャラクアイズ}というカードは何だ？世界に数枚しかない青眼と同じ感じがするが…どうなんだい？」

「おいおい、いきなり自己紹介もせずに質問かよ…少しは礼儀を覚えろ」

「そうだな。俺の名前は遊城十代！お前と同じオシリスレッド！これからよろしくな！」

「僕の名前は丸藤翔ツス……」

「最後に俺だ。m「おーい！あんなとこにシンクロ召喚とかいう召喚を使った女がいるぞ！」「えっ！？何々！？」だ。よろしく」

……よく聞こえなかったが名前は知っているからいいか。やっぱりシンクロ召喚は注目されるんだね

「こちらこそよろしく。俺の名前は宗野魁よろしくな。とりあえずm「追え！逃がすな！ちゃんと話を聞いてもらうぞ！」銀河眼^{ギャラクアイズ}については確かに青眼と同じ世界に数枚しかないカードだ。ほかに質問は？」

「いや、特にない。しいて言うならシンクロ召喚を知っているかい？」

知っているけどここはサクラに押し付けて負担を増やそうか

「全く知らない。知りたければさっきから追っている生徒達が追っている女子生徒。あいつがシンクロ召喚使ってるから聞きに行け」

「そうかわかった。では！」

「おう」

俺は素っ気なくm「なあ、魁！デュエルしようぜ！！」……ことごとくエアーマンの名前が潰されてるな……

「それはついてからにしろ。十代」

「えええーいいじゃん。今すぐここでやるっぜー！」

「却下。それ以上言うとやってやってもいいけど今後一切しないぞ」

「うっ……わかった……でもついたなら必ずデュエルしろよ！！」

「わかってる」

その後俺達は他愛もない話をしてデュエル・アカデミヤについた

「さあつてと……まさか誰もいないとは……」

部屋についてそうそうこれかよ。とりあえず荷物を置くか。クローゼットに制服を入れ、デッキホルダーを腰に巻いてデッキを8つほど投入……その内3個はエクシーズ、シンクロ、禁止制限を守ったガチデッキ。そして残りはタイプ別の遊びデッキ

あるのはローレベル、ロック、ハndes、ビート、エクゾディア。
昨日の試験で使ったのはこの中のビートデッキだな

それでカードのトランクはどこに置こうか…社長サイズのトランク
が30個近くあるんだぞ？危ないカードは自分の引き出しに入れて
おくか…どつかの漫画のように2重底でな。下の方にいれ上に勉強
道具や必需品を入れて、残りのカードはクローゼットの奥に7個…
ベツトの下に2個…机の上に5個…残りはドアの近くに置いとくか
これでオーケー…後はデュエルディスクを着けて…準備完了！

「おい！魁！速くデュエルしようぜ！」

「おう！今行く！」

グットタイミングだよ十代！

「じゃあ行こうか！」

「おう！」

俺達はデュエル・アカデミヤに全力疾走した…

決して全速前進 DA！！じゃねえぞ

んで決闘場デュエルフィールドに来たんだが…

「おい！お前ら！ここはお前達オシリスレッドが使っている場所じ
ゃねえぞ！」

そうなんです。原作の通りオベリスクブルーが占領してるんです。となると次は…

「別にいいじゃないか！ここで決闘デュエルしたって！」

「何だと！オシリスのドロップアウトが楯突くk」諸君、そこまでにしたまえ」万丈目さん！！」

ほーら出てきた、出てきた。猿山…いやゴミ山に大将、万丈目準…この頃のサンダーはどう考えてもライバル臭さらにベジータ臭もしたな…

「あいつ誰だ？」

「知らん。てかこんなゴミ山のリーダーと喋ってたって時間の無駄だ。速くやろうぜ」

おおっと…取り巻き達とサンダーはイライラして…怒り出し声をあげた

「貴様ら！万丈目さんを馬鹿にしてるのか！」

「いやしてない。俺はただそんな屑山の大将と喋るのが時間の無駄だと言っただけ」

「ちっ！貴様らドロップアウトに特別に教えてやる！このお方、万丈目さんは貴様らと同じ1年だがそんなもの月とスポンほど以上に差がある！万丈目さんは中等部からトップクラスの力を持つ超エリートなんだぞ！正しくこの学園最強の1年生なんだぞ！！」

「うわーすつごい（棒読み）でも中等と高等を同じにするな。お前らがいるところの力は全然下の下の下。その中の超エリートなんてよくて下の下の下でしょ？」

「貴様！この俺様が黙って聞いてれば次々この俺様の事を馬鹿にしやがって！この俺様が直々にこのアカデミヤの厳しさを教えてやる！」

「断る。今は十代とやらなければいけないのでまた今度」

「ははは！！何か他人をあしらうのは楽しいな！！しかも断られてめっちゃダサい！」

「いい加減にしろ！このドロップアウト「あなた達いいかげんにしなさい！」で、天上院君！」

「出ました！今作GXのヒロイン、天上院明日香！こいつのデッキはサイバーガールデッキで後々になると機械天使になったはず！しかしこのサイズ…とても高1にはできねえぞ」

「万丈目君！さっきからオシリスレッドの言葉に惑わされてるけど根本的にはそっちに非があるのよ！ここは素直に謝りなさい！」

「くっ…！誰がそんなことをするか！行くぞお前ら！」

「…はい！万丈目さん！」「…」

ズスズラ行くオベリスクブルー達。しかし俺が銀河眼ギャラクツアイズを使ったことを誰も言わないとわ…

うっ？銀河眼？

「あああああ!!」

「うお!どうした魁!」

「すっかり校長に呼ばれてるの忘れてた…十代!また今度!」

「おい!待てっ!」

急げ!急げ!鮫島校長怒ってるかも!

校長室

「お、遅くなって申し訳ございません…ぜえぜえ」

「だ、大丈夫かい、宗野君?」

大丈夫ですって言いたいけどあまりにも疲れすぎてて声が出ない…

「まあ、手紙の件を話さないといけませんね」

「…はい……」

「君がここに呼ばれた理由、それを話そうか」

コクコクと俺は頷き鮫島校長の話を聞き出した

「まず呼ばれた理由と君がオシリスレッドなのは関係している」

…黙って聞く俺

「君がオシリスレッドなのは君が試験中に銀河」
ギヤラクシー

以下略！！

つまり俺がオシリスレッドなのは銀河眼ギヤラクアイズを持っているで海馬社長直々にオシリスレッドにいろつと言ったらしい。理由はオベリスクブルやラーイエローではレアカードが盗まれることが多々あるらしい…

さらに今学期中に海馬社長が来てくれるらしい…まさか銀河眼ギヤラクアイズがここまで世界に影響を与えるとはすげえな。以後使わないようにしようかな？

そんで今は夜。デッキ作りとかほかにも禁止制限にするやつあるんじゃない？と思ってカードをいづくってる

…【ラヴァルバル・チェイン】を制限にしておくか。後【ダイガスタ・フェニックス】も。

次に【真炎の爆発】…制限行き。【A・O・Jカタストル】はどうか…効果体制は無いけど効果強力だしシンクロしやすいし機械族だし闇だし…どうしよう？

ヴォルカザウルス…準制限かな？ホーププレイ…無いな。アニメ限定カード【アーマーシリーズ】…禁止！だけどカイザーに出会ったら

渡そう。中の人の都合上

今思ったけど名も無き竜達ってほかに何の姿になるのかな？使ってみたいけど世界に影響を与えるから禁止

ふうー… 大変だな。しかし自分自身に枷をして楽しむ！これほどいい遊びはねえ！

うん？メールがある？何だろ？

ドロップアウトボーイ！さっきはよくも馬鹿にしてくれたな！午前デュエルフィールド0時決闘場で待っているぞ！あれだけ馬鹿にしたのに逃げるなよ！

万丈目さん

…最後に万丈目「さん」とは… よっぱどさん付けが好きなのね。あれ？もう一件メールが…

午前0時、オシリスレッド近くの発電所で待ってるわ。ちゃんとデツキを持ってきてね

b y 天城サクラ

よしサクラのほうに行こうか！！

…えっ？万丈目？あいつ何て放っておけ。近日中に何故来なかった！とか言っデュエルて決闘してくるでしょ
それにサクラの気になるし

「よし…行くか！」

俺はいきよい良くドアを開け発電所に向かった…

発電所

「あら、案外速く来たのね？」

「はは、当たり前だ。女性を待たせるなんて男がする事じゃねえ」

「ふっ…ここに呼んだ理由はわかるでしょ？」

「ああ…」

そっ言ってディスク構える俺とサクラ…

「「^{デュエル}決闘！！」」

ここは人目がないから本気でやってやる！

「俺が先攻だ！ドロ―！手札より永続魔法【未来融合 フューチャ
ー・フュージョン】を発動！効果知っているよな！」

「当然」

「なら俺は【^{ファイフコマンダー}F・G・D】を選択！デッキから【伝説の白石】が2
体【^{レッドアイズ}真紅眼の飛竜^{ワイバーン}】が2体【レッドアイズ・ダークネスメタルドラ
ゴン】を選択！」

【伝説の白石】の効果発動！このカードが墓地に送られた時デッキから【青眼の白龍】ブルフェイス ホウゴウゴンを手札に加える！2枚送ったので2枚手札に加える！」

「ふーん…絶ドラね」

「そつえばそうだけど今は絶ドラじゃねえよ！！」

新しく入ったスターターデッキ【ドラゴニック・レギオン】でレダメが入っているからな！今じゃ絶望じゃなくて希望が見えるぜ！

「さらに手札から魔法発動！【融合賢者】！デッキから【融合】を手札に加える！そして【融合】発動！手札の青眼を融合！来い！青き瞳に宿りし究極の魂！融合召喚！【青眼究極竜】！さらに究極竜を生贄にして！究極を超えし光の竜よ！今その姿を輝かせろ！特殊召喚！【青眼の光龍】！」ブルフェイス シャホウゴン

「そして墓地のドラゴンは…9体…」

「光龍の効果で光龍の攻撃力は5700！リバースカードを2枚セツトしてターンエンドだ！エンドフェイズ！墓地の【真紅眼の飛竜】レッドフェイス ワイバーンを除外して墓地の【レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴン】シャホウゴンを特殊召喚！墓地のドラゴンが減った事で光龍の攻撃力は600ポイントダウンする」

いきなり展開しすぎだな…相手はどう来る！？

「私のターン、ドロー！【天使の施し】を発動！」

禁止カー…ドッ！！でもこの世界では制限だから仕方が

無い！

「デッキから3枚引きその後2枚捨てる。【死者蘇生】を発動！この効果で墓地より【ガガガガール】を特殊召喚！そして速攻魔法【地獄の暴走召喚】！この効果で私は【ガガガガール】をデッキから2体特殊召喚する！そしてあなたも自分モンスター1体を対象にしてデッキ、手札、墓地から同名モンスターを特殊召喚しなさい！」

「デッキから【レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴン】を特殊召喚！」

くそ！俺のデッキにはレダメは2枚しか入ってないよ！

「あら？レダメは2枚しかないの？普通なら3枚入れるのに…まあいいや。【ガガガマジシャン】を召喚！」

『『ガガガ先輩！』『』』

『オ……オウ！』

【ガガガマジシャン】後輩がいっぱいいてビックリしてるぜ。これは見ものだ！

「そして【ガガガガール】の効果発動！このカードのLvを【ガガガマジシャン】と同じ4にする！そして【ガガガガール】2体でオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！【No.39希望皇ホープ】！！さらに【ガガガマジシャン】と【ガガガガール】でオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！【No.39希望皇ホープ】！」

『ホオオオーーーープ!!』』

出たーーーー!!アポリアさん!!
そのままあれに繋ぎたいな!!

「【ガガガール】の効果でレダメ2体の攻撃力を0にする!光龍^{シンヤキリマン}にやりたいけど効果で無効にされるから無理だから仕方が無いか…バトル!ホープでレダメに攻撃!ホープ剣スラッシュ!」

「ぐう…くつ!」

宗野魁 LP1500

やっぱり【ガガガール】の効果は強いな…だけど…

「さらにホープでレダメに攻撃!ホープ剣スラッシュ!」

「畏^{ドラゴン}発動!【竜の転生】!レダメを除外して墓地から【青眼の究極^{ブルアイズ アルティメット}竜】を特殊召喚!」

「攻撃は中止!リバースカードを2枚セットしてターンエンド!エンドフェイズ時に永続畏【闇次元の開放】を発動!」そんな!」

「この効果で除外されている【レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴン】を特殊召喚する!」

焦るなよ?まだ決闘は始^{デュエル}まったばかりだぜ?

第3話 禁止制限適用転生者VS禁止制限否適用転生者（後書き）

はい、早速次回予告！

始まったばかりなのにいきなり熱き戦いを繰り広げる転生者2人！
そしてサクラが窮地にたった時新たに現れたモンスター！
両者がだす攻撃には一部の隙も無い！！

次回！【究極こえし光VS混沌を光に変える使者！！】

次回もお楽しみに！！

第4話 究極超えし光VS混沌を光に変える使者！！（前書き）

連続更新！！

だが同時にだんだんストックが減ってゆく！

魁「現在どこまでストックがあるんだっけ？」

若本戦まで溜まってますよ。

魁「じゃあ大丈夫だろ」

そうかな…？

心配だけどそれでいいか！

さて今回の最強カードは！？

魁「【CNo.39希望皇ホープレイ】！！

エクシーズ素材は光属性Lv4モンスターが3体か自分フィールドの【No.39希望皇ホープ】の上に乗せエクシーズ召喚する！

このカードの効果は自分ライフが1000以下の場合、自分オーバレイユニットを1つ取り除く事でこのカードの攻撃力を500ポイントアップして相手モンスターの攻撃力を1000ポイントダウンさせる！

前話での【ガガガール】のコンボを使った後自分ライフが1000以下の時このカードを出せば勝利の方程式が完成するぞ！！」

後【ファントム・オブ・カオス】の効果で得たホープにも重ねられますよ。

今回はアニメで困ったときの逆転カードでした。
ぶっちゃけこのカードと【ガガガール】さえあればアニメの初期

ライフ4000なんて簡単に削れるので台本合わせには持って来いですよね。

第4話 究極超えし光VS混沌を光に変える使者！！

「俺のターン、ドロー！【レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴン】の効果発動！墓地より【青眼白龍】フルアイズワキモゴンを特殊召喚！さらに手札魔法発動！【アドバンスドロー】！【青眼白龍】フルアイズワキモゴンを生贄にして2枚ドロ！さらに手札から魔法発動！【トレード・イン】を発動！手札のLv8モンスター【銀河眼光子竜】ギョラクタイアクトンドラゴンを捨て2枚ドロー！」

「これでさらに光龍の攻撃力は300ポイントアップ…攻撃力高いね」シャキモゴ

「そりやどうも！行くぞ！光龍でホープに攻撃！シャイニングバースト！！」シャキモゴ

天城サクラ LP800

シャキモゴ
光龍の光の咆哮がホープに直撃？…何故効果を使わない？

「希望皇ホープの効果……このカードは【No.】と名のついたモンスター以外の戦闘では破壊されない……」

原作効果！！？原作ならNo. 危ないカードじゃないか！？

「お前大丈夫か！？取り込まれてないか！？」

「大丈夫。確かにNo. 特有の感じがあつたけど私に害は無かつたから」

それでも危ねーよ！！

たくっ…なんちゅうカード使ってた…

「続けてバトル！究極竜でホープに攻撃！アルティメット・バースト！」
アルティメット

「希望皇ホープの効果発動！オーバーレイユニットを1つ取り除き相手モンスターの攻撃を無効にする！ムーン、バリア！」

オーバーレイユニットがホープの心臓らへんに入りホープが翼で究極竜の攻撃を防いだ
アルティメット

「【レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴン】でホープに攻撃！ダークネス・ギガフレイム！」

「先ほどオーバーレイユニットを使ったホープの効果発動！オーバーレイユニットを1つ取り除き攻撃を無効にする！」

同じように攻撃を防がれたレダメ
やるな…禁止カードや原作効果を使っただけ

「リバースカードを2枚セットしてターンエンド！」

またハンドレスか…手札がほしいな…

「私のターン、ドロー！来た！手札から魔法発動！【ニールングの財宝】！」

ちょっと待て…！…！…！原作効果、禁止カードに続いて今度はアニメのオリカですか！？
しかも【ニールングの財宝】の効果って…

「【ニールベルグの財宝】の効果！このカードの発動時自分はカードを5枚ドローする！」

出たよ壊れオリカ！そんなカード使って楽しいか！？確かに効果は強力だけど！！

「そしてデッキから【ニールベルグの指輪】をレダメに装備させる
！」

…すまん、レダメのせいなんだけど…つけてる場所が指輪じゃなくて『首』よってこれは【ニールベルグの指輪】改めニールベルグの首輪にしよう

でも首輪の効果はつえ…確か効果はこのカードを装備したモンスターは生贄も効果も使用できずさらに攻撃までできない…ただしおまけ効果にこのカードを装備したモンスターのコントローラーはドローフェイズ時デッキからもう1枚ドローできる。そしてスタンバイフェイズにドローフェイズにドローしたカードにモンスターがあった場合ドローしたカード中のモンスターを1枚墓地に送る…

後者の効果は場合よってはすげえ強くなる…【魔のデッキ破壊ウィルス】を使えば魔法、罫も落とせるし手札も確認できる。…たくジークと社長が組めばある意味最強タッグだったろ…

「速攻魔法【サイクロン】！これで未来融合を破壊！続いて永續魔法【強者の苦痛】！これであなたのモンスターの攻撃力はダウン！いくわよ！オーバーレイユニットがあるホープに対して私はあるカードを重ねる！」

「まさかそれって！」

あの進化すんのが早過ぎの…

「そう、それよ！このカードは自分フィールド場の【No.39 希望皇ホープ】と名の付くモンスター・エクシーズ素材に召喚できる！カオス・エクシーズチェンジ！！今こそその姿を現せ！混沌を光に変える使者！【^{カオス}CNo.39 希望皇ホープレイ】！！」

『ホオオオーーーーッ！！』

まさかあのみんなからハズレカードだと言われ続けてたカード…ホープレイがこんな簡単にフィールドに出るなんて…でもこっから活用しなければホープレイを出した意味が無いぜ？

十代Side

万丈目と決闘してて途中でガードマンがきて中止。今は外で明日香と翔と話しているが…

「おい、何だあの光？」

オシリスレッド近くの森の中がやたらと光ってるんだが…

「さあ？」

「何でしょうね？」

「とりあえず行ってみようぜ！！」

俺達は光のところに向かったんだが…
すげえ…すげえとしか言いようがねえ！！

「カオス・エクシーズチェンジ！今こそその姿を現せ！混沌を光に変える使者！【C N O・39希望皇ホープレイ】！！」

『ホオオオーーーープッ！！』

あそこにいるのは魁！しかも対戦相手は試験でシンクロ召喚とかいう召喚した天城サクラ！しかもまたサクラは新たな召喚してる…それだけじゃない！魁のフィールドには攻撃力5700のドラゴンと2800のドラゴン！

最後のドラゴンは…あれどう見ても【青眼の究極竜】だよな？
ブルサイズ アルティメットドラゴン

青眼は海馬さんしか持ってないはず…どうやって場に出したんだ？

「さらに【切り込み隊長】を召喚！効果により手札から【ビック・ジョーズ】を特殊召喚！」

ええ！！？あの鯨Lv3で攻撃力1800！？強すぎる！

「Lv3【切り込み隊長】と【ビック・ジョーズ】でオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！【潜航母艦エアロ・シャーク】！」

「！させるか！畏発動【奈落の落とし穴】！相手が攻撃力1500

以上のモンスターを召喚、反転召喚、特殊召喚した時そのモンスターを破壊し除外する！」

「くっ！防がれたか！ホープレイに対して使わなかったから無いと思っただけ…」

「あいにくそっちが原作効果を使うのをわかってるんでね…恐らく【潜航母艦エアロ・シャーク】が出ると思っただけじゃなかった」

原作効果？

エラッタとかそんな感じの事かな？

「しょうがない…ホープレイの効果発動！オーバレイユニットをすべて取り除きエンドフェイズ時まで攻撃力を1500ポイントアップ！そして究極竜アルティメットドラゴンの攻撃力を3000ポイントダウンさせる！オーバレイチャージ…！」

その効果強力じゃないか！

【ブラック・マジシャン】、ブルサイズ ホウオウゴン【青眼の白龍】の攻撃力さえ0にして自分は攻撃力4000で攻撃なんて…強力すぎるだろ！

「これで終わりよ！ホープレイで究極竜アルティメットドラゴンに攻撃！ホープレイ剣力オススラッシュ！」

ホープレイの剣が究極竜アルティメットドラゴンを破壊した…
魁が負けるなんて…

「畏発動！【ガード・ブロック】！このカードは戦闘で発生したダメージを1度だけ0にして1枚ドロー！」

さすが魁！あんなダメージを防ぐなんて！

「決められなかった…だけどホープでレダメに攻撃！ホープ剣スラッシュ！」

「ぐっ！」

宗野魁 LP800

「これで並んだわ…リバースカードを1枚セットしてターンエンド」
お互いのライフは同じ…しかし攻撃力は魁のほうが上！このまま押し切れば勝てる！

「俺のターン、ドロー！（今の光龍シヤホリムツの攻撃力は【強者の苦痛】で5300か…攻撃力の維持のため墓地のドラゴンをあまり減らさないでおこう）魔法発動！【死者蘇生】！この効果で墓地より来い！【青眼究極竜ブルタイズルティムドラゴン】！バトル！光龍シヤホリムツでホーププレイに攻撃！」

これが通れば魁の勝ちだ！

「ダメージステップ時に永続罠【燃える闘志】をホーププレイに対して発動！」

「ま、まずい！」

「【燃える闘志】の効果！このカードを装備したモンスターは装備モンスターの元々の攻撃力より攻撃力が高いモンスターが存在する時ダメージステップ終了時まで攻撃力を2倍にする！」

攻撃力が…

ブルフェイス シャボロンゴク
【青眼の光龍】 攻撃力5000

【CNo.39希望皇ホープレイ】 攻撃力5000

並んだ！

「行け！ホープレイ！ホープ剣カオススラッシュ！」

「くっ！シャイニングバースト！」

お互いのモンスターは攻撃しあい打ち…

アルティマドラゴン
「なら究極竜でホープに攻撃！」

これも通れば！勝てる！

「畏発動！【ダメージ・ダイエット】！このターン自分が受けるすべてのダメージを半分にする！くっ！」

天城サクラ LP400

あちゃー防がれたか…でもこのデュエルめちゃくちゃワクワクするぜ！！

「防がれたか…ならメインフェイズ2！俺は魔法カード【貪欲な壺】を発動！墓地の【青眼の光龍】と【伝説の白石】が2体【青眼の白龍】2枚をデッキに戻しシャッフル！そして2枚ドロ！究極竜を生贄に…再びこのフィールドに光をもたらせ！特殊召喚！【青眼の光龍】を特殊召喚！！墓地のドラゴンは3体減り【強者の苦痛】で

攻撃力ダウン…攻撃力は4100…これでターンエンド」

「私のターン、ドロー！再びホープをエクシーズ素材にしてエクシーズ召喚する！カオス・エクシーズチェンジ！再び姿を現せ！混沌を光に変える使者！【CNo.39希望皇ホープレイ】！」

『ホオオオオ……プツ……！』

また出た！ホープレイ！

「そしてホープレイの効果発動！オーバーレイユニット1つ取り除いてこのカードの攻撃力を500ポイントアップする！攻撃力ダウンは光龍には効かない…オーバーレイチャージ！さらに装備魔法【巨大化】！これによりホープレイの元々の攻撃力を倍にする！よって攻撃力5500！」

まずい！これだと魁が負けちまう！

「これで終わりだ！ホープレイで光龍に攻撃！ホープ剣カオススラッシュ！」

今度こそ魁は終わりだ！

「…ふっ…今度はそっちが引つ掛かる番だぜ……！」

「何！？」

まさか魁にはこの状況を打開するカードを持っているのか！？

「いくらフィールドにリバースカードが無くても手札にも注意しろ

よ！手札から【オネスト】の効果発動！」

「そんな！？」

「【オネスト】の効果！自分フィールド場の光属性モンスターが相手モンスターと戦闘をおこなった時発動できる！手札のこのカードを墓地に送り戦闘してる光属性モンスター…【青眼の光龍】^{ブルライズ シャイニングバースト}の攻撃力に戦闘されてる相手モンスター…【CNO・39希望皇ホープレイ】^{ブルライズ シャイニングバースト}の攻撃力：5500を【青眼の光龍】に加える！！」

『^{ブルライズ シャイニングバースト}グリアアアア！！！』【青眼の光龍】 攻撃力4100 9600

攻撃力が9600！！？

「迎撃しろ！光龍^{シャイニングバースト}！！光滅の…シャイニングバースト・ストリーム！！！」

「うわあああああ！！！」

天城サクラ LP - 3700

「サクラ。俺の勝ちだ」

「そうね。いい決闘^{デュエル}だったわ」

くうーっ！！早く魁とデュエルしてえ！！

「翔！返るぞ！」（ボソッ）

「えっ？待ってよ、アニキ！」（ボソッ）

早く帰ってデッキ調整して魁に挑むぞ!!

第4話 究極超えし光VS混沌を光に変える使者！！（後書き）

はい、という訳で勝者は魁でした！！

魁「いやー実際やつて疲れた…」

ちなみに魁が使ったデッキ名は【白き龍の逆襲】で一応ガチデッキ。サクラが使ったのは私の活動報告で書いたデッキ【ホーププレイデッキ】をオリカ、禁止カードを入れた感じのデッキです。

魁「では次回予告！」

今日のはのんびり学園生活！

えっ？翔がいない？

よしだったら探しに行こうぜ！

次回！【翔争奪戦？一触即発タッグデュエル！】

次回もお楽しみに！

第5話 翔争奪戦？一触即発タッグデュエル！（前書き）

はぁー…

黒野「どうした作者？」

おい黒野。お前はまだこの前書きに出ちゃダメ。

黒野「そうかい。では」

魁「じゃあ代わりに俺が。どうした作者？」

…今回だしたコンボって成立するのかなって…

魁「どうだろうね…オリカどうしのコンボだから不明だよ」

ですよね…

まあ、とにかく今回の最強カードに移ろうか！

魁「そうだな。今回の最強カードは【ドゥーブルパッセ】！

このカードは自分モンスターが相手モンスターに攻撃された時発動！その攻撃を直接攻撃として受け攻撃対象にされた自分モンスターは直接攻撃する！

モンスターを守りたい時以外に使いどころあるかな…？」

ちなみに効果は漫画版です。でも確かアニメ版もこんな感じだよな…？

第5話 翔争奪戦？一触即発タッグデュエル！

今回は珍しくまともなデュエルの授業……

…なんだけどもみんなの頭の乏しさに俺泣きそう…

だってさー…カウンター罠のスペルスピードは？という問題がたら皆さん一斉にスペルスピードって何だ？っていいだしたんだぞ？

次に【死者蘇生】にチェインして【サイクロン】を発動するとどうなる？という問題もチェインって何だ？とも言い出した。とりあえず生徒が答えたんだがその答えは「【サイクロン】で【死者蘇生】を破壊すると【死者蘇生】の効果は無効化されます」と言った……お前ら馬鹿だろ。【サイクロン】で【死者蘇生】の効果は無効にできないよ。

……ちよつと待て！なんで先生正解って言ってるの！？間違ってるよ！先生も間違えてどうする！

こんな感じで授業が進んで今度は俺が指された

「宗野カイー。ここの問題、フィールド魔法にツイーて説明、及び有効な使い方をだすノーネ」

フィールド魔法か…簡単だな

「フィールド魔法はフィールド場に置く場所が2つある。この場所をフィールドカードゾーンと言う。表側フィールド魔法はフィールド場に1枚しか存在できない。フィールド魔法は相手フィールドにも影響を及ぼす。例えばフィールドが【海】の状態の時自分が魚族を使っていれば攻撃力はアップ。相手が炎族を使っていれば攻撃力ダウン。逆に自分が炎族を使っている場合攻撃力がダウン。なおフィールド魔法をサーチできるカードはいくつかあります。フィールド魔法だったらデッキから何でもサーチできる【テラ・フォーミング】手

札にある「アトランティスの戦士」を墓地に送りデッキから「伝説の都アトランティス」があります。この通りフィールド魔法はデュエルの勝敗を決めるのではなくデュエルの流れを自分に変えるために使います。なおフィールド魔法はさまざまカードがあります。例えば基本の攻撃力、守備力を上げるカード【森】や【荒野】【闇】これらは自分が使う種族がフィールドにあっている場合に使われます。守備力を下げる代わりに攻撃力をさらに上げるフィールド魔法【ガイアパワー】や【ウォーターワールド】があります。これらのカードが主にデュエルの流れを大幅に掴むために存在します。ただしフィールド魔法は種族に関係するものばかりではありません。例えば遊城十代が使ったカード【摩天楼 スカイスクレイパー】や天城サクラさんが使った【竜の渓谷】があります。前者のフィールド魔法は相手に攻撃力のアドバンテージを与えにくく自分が【E・HERO】デッキを使えば一方的にフィールド魔法の効果を得られます。後者のほうはフィールドに影響は与えませんが手札、デッキに影響を及ぼします。デッキからLv4以下の【ドラグニティ】と名のついたモンスターを手札に加えられますしもう1つの効果、デッキからドラゴン族モンスターを墓地に送るという効果。これは主に【ドラグニティ】専門のドラゴンを送ったり一般的な考えで使うなら【ダイヤモンド・ドラゴン】を落として【死者蘇生】を使うといいですがこのやり方はあまりオススメしません。何故ならどちらの効果もこのカードの発動時に手札を1枚減り効果使用に手札をさらに1枚減りそして【死者蘇生】の使用で手札がさらに1枚減ります。手札を3枚も使用して出てくるのが【ダイヤモンド・ドラゴン】では手札の消費枚数と出す価値が合いません。だからこのコンボはオススメしません。後皆さん勘違いしやすい事をいくつか。【マインドクラッシュ】で【伝説の都アトランティス】を選択してアトランティスが手札にあっても墓地には送られません。何故ならアトランティスの効果文の最初にこのカードは名は『海』として扱うという効果があるからです。この効果はデッキ、手札、フィールドに関

係無くどこにあってもルール上『海』という名前で扱われます。これによって【マインドクラッシュ】で宣言したアトランティスは『海』という名で扱われているので無効にされます。アトランティスを【マインドクラッシュ】で墓地に落としたい場合『海』と宣言しなければいけないのでご注意ください。なお【アトランティスの戦士】で【伝説の都アトランティス】がサーチできるのは恐らく特別処置がされてるかと思われます。さらにデッキ作成でも『海』として【伝説の都アトランティス】と【海】で3枚ずつデッキに入れられないのでそのところもご注意ください。後【死皇帝の陵墓】の効果で召喚された【氷帝メビウス】や【雷帝ザボルグ】の効果は発動されません。これは【帝】モンスターの共通効果、このカードが生贄召喚に成功した時…と書かれているので【死皇帝の陵墓】の召喚された【帝】は生贄召喚ではなく通常召喚なので効果は使用できません」

言った後そのままドスツと席に座る俺。皆さんノートを出して真面目に書いていやる……とは言ってもオベリスクブルー男子は全員書いてないと思うけど。

しかもまさかクロノス教諭までメモ帳だして書くとは………こんなデュエルモンスターの常識だろ？最後のアトランティスと【帝】以外…しかも最後に言ったやつ知っている人は知っているし。なんでだろ？この世界のレベルが低くて涙が出ちゃいそう……

「メモメモ…今回は貴重な情ホーウ、ありがとうナノーネ！では授業をシューリョーするノーネ！では各自次の授業の準備をしとくノーね！」

そう言って教室からでたクロノス教諭…

こうなったらいつそ今学期中に俺への用事で来てくれる海馬社長に授業レベルを上げてもらおうかな…

夜

しかし本当にカード多いな…【ダイヤモンド・ドラゴン】が46枚
…海馬社長より持っていてどうする…

いつそオークションで売るか？確かこのカードの値段って【真紅^{レッドアイズ}眼の黒竜^{ブラックユニ}】だと現実世界で数百円、こっちだと数十万だろ？

サポートカードが無ければ使えにくい【真紅^{レッドアイズ}眼の黒竜^{ブラックユニ}】を数十万で
買うか普通？これだったらまだ数万円で機械族でLv5で攻撃力2
500の【サイバネティック・ワイバーン】の方が使えるわ！！

試しにオークションで【ダイヤモンド・ドラゴン】をオークション
にだそう。値段は200円からスタート…っていきなり2200
0円になった！？次に26000円！？ちょっと待て！みんな早過
ぎ！どうしてこんなカードに万を入れる…って今度は10万になっ
たー！…おかしい！金銭感覚おかしいだろ！！こいつらは全員
馬鹿だ…

気晴らしにデッキ作りしようとしたら通信端末にメールが入ってる
…誰からだ？

翔をオベリスクブルー女子寮で預かってるわ。助けたければ早くき
たほうがいいわ。

b y天城サクラ

ああー…そういえばそんなイベントあったなー…

確かクロノス教諭が偽ラブレターを書いたんだけど入れる場所を問

違えそれで翔が行って捕まった…こんな感じでいいんだっけ？
とりあえずデッキを用意するか…今日はどんなデッキに使用かな…

「おーい！魁いるか！」

「いるぞ！」

やっぱり十代にもきているか…とにかく早くでよう

「魁！翔が捕まった！」

「ああこつちにもそのメールがきてた。早く行くぞ！」

「おう！」

しかし……何故サクラからメールが…

まさか明日香と一緒に風呂入ってるところ見られたか？

いや、それだとメールの文章が少しおかしい…

とにかく行けばいいか

ブルー女子寮

現在小船をギシギシこいでブルー女子寮の裏側に来ています。しかし暗くてよく見えないな…翔はどこだ？

「おーい！！翔、どこだ！！！」

「ここッスよ、アニキ！」

「やっと来たのね」

あら翔がみのむしみたいに縄でグルグルに縛られてる…そのすぐ近くに仁王立ちしてる明日香とその横にめんどくさそうに立っているサクラ。そしてほか2名
あいつら2名に名前なんてあったけ？仮にあったとしてもモブだろうな…

「おい明日香！翔を返せ！」

「ふっ…返して欲しければ、十代！デュエルしなさい！」

でたよ。この世界特有のルール、デュエル万能説！

デュエルで勝てば罪を免除するし情報を得るにもデュエルだし最終的にはどう考えてもリアルファイト要員の人達もデュエルで決着つけるし…もうホセとかは恐ろしいほど力あるし…だって誰かのリアルダイレクトアタックのDホイールで攻撃を難なく片手で受け止めたからな？あいつは肉体暴力のほうが強いのと思うぞ
…と話がずれたな。とにかくデュエルでかたをつけるのか…
うん？それだと俺呼ばれた意味無くない？

「おい。俺やることないぞサクラ」（アイコンタクト）

「私はただ明日香があんたともデュエルしたいって言うから誘ったんだけど」（アイコンタクト）

なるほど。となると…

「十代！それに魁！あなた達2人で私に勝てた場合翔君を返してあ

げる！」

「ちょっと待て。それ面倒だからタッグデュエルにしねえ？」

「「タッグデュエル？」」

よし。早く帰ってデッキ作りたいからなるべく早く帰るための手段……タッグデュエルにいくつかついてきたぞ！

「そう。ここで態々2回戦より1回で済ませたほうが効率いいからさ。俺と十代でタッグ、明日香はサクラと組めばいいだろ？」

「ちょっと待って！それには異議が……それ面白そうじゃん！やろうぜ明日香！」ちょっと十代！」

「私は少し反対かな……前に魁とデュエルしたから……今は十代や明日香と戦いたいし……」

ちっ……サクラ……邪魔しやがって……

「それを言うなら俺だって魁とサクラとデュエルしてえよ……！」

「じゃあそれ言うならタッグデュエルのパートナー交代しない？そうすれば私は明日香と十代と戦えるし十代は私と魁に戦える……いい話でしょ？」

ん？段々話がちょっとおかしい方向になってないか？

「わかった！それでいいぜ！」

「ちょ、ちよつと待って！私は十代と魁とデュエル…「別にいいじゃない？明日香も私と戦って見たかったんでしょ？」うつ…」

勝手に話がどんどん進んでる…まあ俺は誰とでもいいけど…

「じゃあそれで決まり！俺と明日香対魁とサクラでタッグデュエルだ！」

「はあー……………もう別にそれでいいわ。ただし手加減しないわよ？」

「……………じゃあ、始めようか」

とりあえずペアが決まったな…………俺とサクラVS十代と明日香
ルールはお互いライフ共有でライフは8000

ターン順番はサクラ 十代 俺 明日香 サクラという順番
そして最初プレイヤー、つまりサクラは攻撃できないが十代以降から攻撃できる

フィールド、墓地、除外は共有するが手札、デッキ、エクストラデッキは共有しない…

簡単にいうとTFと同じルールだ

「…では始めるか！」

「…………決闘！」^{デュエル}…………

「私のターン、ドロー！…リバースカードを2枚セットしてターンエンド！」

……………昨日のデッキとは違うな…今回はカウンター系か？

「俺のターン、ドロー！俺は【E・HEROスパークマン】を召喚！行くぜ！スパークマンでダイレクトアタック！」

「リバースカードオープン！【ヒーロー見参】！相手モンスターの攻撃宣言時相手は手札をランダムに1枚選択する！さあ、選**び**なさい！」

手札が4枚もある状態で【ヒーロー見参】？なにか上級モンスターの召喚を狙っているのか？

「俺が一番左のカードを選択する！」

「左のカード…それは【レアメタル・ドラゴン】！」

確かあれって効果が一番短いモンスターでよね！？効果はこのカードは通常召喚できないという一言で書かれた効果を持つモンスターでよね？

「くっ…攻撃をやめろ！スパークマン！メインフェイズ2で俺はリバースカードを1枚セットしてターンエンド」

俺のターンか…リバースカードを確認するか…【ドゥーブルパッセ】？

何故こんなカードが？いったい何を狙っているつもりだ？

「俺のターン、ドロー！手札の【ゾンビキャリア】を墓地に送り【THE・トリッキー】を特殊召喚！そして魔法カード【おろかな埋葬】を発動！デッキから【チューニング・サポーター】を墓地に送る！そして【ジャンク・シンクロン】を召喚！効果により墓地から【チューニング・サポーター】を特殊召喚！行くぞ！Lv1【チュ

ーニング・サポーター】にLv4【レアメタル・ドラゴン】にLv3【ジャンク・シンクロン】をチューニング！」

「まさか魁もシンクロ召喚するのか（するの）！？」「

「黒き翼に宿りし力！その力をここに現せ！シンクロ召喚！舞い上がれ！【ブラックフェザー・ドラゴン】！【チューニング・サポーター】の効果で1枚ドロ！」

うーん…やっぱりまだこのデッキは回りにくいな…

「手札にあるカードを1枚デッキトップに置き墓地より【ゾンビキヤリア】を特殊召喚！Lv5【THE・トリッキー】のLv2【ゾンビキヤリア】をチューニング！数々の武器を手にする竜よ！その力をここに解き放て！シンクロ召喚！機械竜【パワー・ツール・ドラゴン】！【パワー・ツール・ドラゴン】の効果発動！デッキから装備魔法3枚選択しその内3枚をランダムに手札に加える！パワーサーチ！」

来たカードは……

「…装備魔法【ビックバン・シュート】を【パワー・ツール・ドラゴン】に装備！攻撃力を400ポイントアップする！バトル！【パワー・ツール・ドラゴン】でスパークマンに攻撃！ビックバン・ブレイク！」

「畏発動！【ヒーローバリア】！これでパワー・ツールの攻撃は無効だ！」

「追撃しろ！【ブラックフェザー・ドラゴン】！ノーブル・ストリ

ーム！」

「ぐっ…スパークマン！」

十代&明日香 LP6800

「リバースカードを2枚セットしてターンエンド！」

「私のターン、ドロー！手札から【融合】発動！手札の【エトワール・サイバー】と【ブレード・スケーター】を融合！現れなさい！【サイバー・ブレイダー】！」

うお！全身タイツのバイザーをつけた女性！まさしくアレは【サイバー・ブレイダー】！確かこいつの効果って少し弱いけど扱いによつては強くなると言われてる！でもどうやって使うんだろ？

「【サイバー・ブレイダー】の効果！相手フィールド場のモンスターが2体の場合攻撃力を倍にする！パ・ド・トロワ！【サイバー・ブレイダー】でパワー・ツールに攻撃！」

「させるとするか？カウンタ・罠【攻撃の無力化】！相手モンスターの攻撃を無効にしバトルフェイズを終了させる！」

「くっ…！私はリバースカードをセットしてターンエンドよ」

「私のターン、ドロー！…【翻弄するエルフの剣士】を召喚！」

「モンスターが3体になったことで【サイバー・ブレイダー】の効果は変化する！パ・ド・カトル！」

これで【サイバー・ブレイダー】の効果でパワー・ツールは【ビツクバン・シュート】の効果を失い攻撃力は元に戻る…それでも【サイバー・ブレイダー】は倒せるけど

「バトル！【ブラックフェザー・ドラゴン】で【サイバー・ブレイダー】に攻撃！ノーブル・ストリーム！」

「暴発動【ドゥーブルパッセ】！このカードは相手モンスターの攻撃を直接攻撃として受け攻撃対象にされた自分モンスターは相手プレイヤーに直接攻撃できる！」

明日香お得意の【ドゥーブルパッセ】。このカード未OCGカードだから強制的に俺の禁止制限では制限いきだけどこれ壊れ効果じゃないからな…普通の禁止制限だと恐らく無制限だろ

十代&明日香 LP4000

「ぐっ！お返しよ！」

魁&サクラ LP6900

「くっ…だけど次の攻撃は防げない！パワー・ツールで【サイバー・ブレイダー】に攻撃！クラフティ・ブレイク！」

「【サイバー・ブレイダー】が!?!」

十代&明日香 LP3800

「そしてエルフの剣士で直接攻撃！ダイレクトアタック替剣斬！」

「ぐっ…この程度！」

十代 & amp; 明日香 LP2400

「ふっ…リバーズカードをセットしてターンエンド」

何か企んでる…サクラ…何をする気だ！？

「俺のターン、ドロ―！魔法カード【強欲な壺】！カードを2枚ドロ―！魔法カード【戦士の生還】！これにより墓地からスパークマンを手札に加える！そして【融合】発動！手札のスパークマンとクレイマンを融合！来い新たなヒーロー！【E・HEROサンダー・ジャイアント】！サンダー・ジャイアントの効果！このカードの召喚時このカードの攻撃力より元々の攻撃力が低い相手モンスター1体を破壊する！ヴェイパー・スパーク！」

これによって破壊されるパワー・ツール…

「さらに手札から魔法発動【融合回収】フュージョンカバリ！これにより墓地から融合素材になったスパークマンと【融合】を手札に加え【融合】発動！手札のスパークマンとエッジマンを融合！来い新たなヒーロー！【E・HEROプラズマ・ヴァイスマン】！プラズマ・ヴァイスマンの効果発動！手札を1枚墓地に送り【ブラックフェザー・ドラゴン】を破壊！スパーク・クラッシュ！」

くそ！まさかここまで展開するとは…さすが十代。見事なチートドロ―だ！

「行け！サンダー・ジャイアントでエルフの剣士に攻撃！ボルティック・サンダー！」

今、俺は確かに見た。サクラの顔が一瞬にして悪役じみた満面の笑みを……い、いったい何をするつもりだ？

「畏発動！【ドゥーブルパッセ】！このカードの効果は相手モンスターが自分モンスターを攻撃対象にした時発動！この攻撃を直接攻撃として受け攻撃対象になった自分モンスターは相手プレイヤーにダイレクトにダメージを与える！」

何故！？ここは普通【翻弄するエルフの剣士】だからそれを使わずに耐えればいいのに！？

魁&・サクラ LP4500

「くっ…くらいなさい！替剣斬！」

「ぐあ！」

十代&・明日香 LP1000

「くそ、続けてプラズマ・ヴァイスマンでこうげ…何を勘違いしてるんですか？」えっ？

この口調…まさか！？

「今は私の攻撃の最中ですよ？」

「何言ってるんだ！今は俺のバトルフェイズだぞ！お前は攻撃できない！」

「リバーiscardオープン！速攻魔法【狂戦士の魂】^{バーサーカーソウル}！！」

「げっ！やっぱり…」「バ、【狂戦士の魂】^{バーサーカーソウル}？」

まさかこんな形で成立させるとは…

「手札をすべて捨て…効果発動！このカードはデッキからモンスターが出続けるまでカードをドローし墓地に送るカード…そしてその数だけ攻撃力1500以下は追加攻撃できる！」

うん、やっぱり出鱈目な効果だね。そして恐らくデッキはほぼフルモンスターなんだろう…

「さあ行くわよ！まず1枚目！ドロー！モンスターカード【レッグル】を墓地に送って追加攻撃！」

「ぐわああああ！！」

十代&明日香 LP-400

「2枚目ドロー！モンスターカード【バトルフェーダー】！」

「ぐわああああ！！」

十代&明日香 LP-1800

「ドロー！モンスターカード【トラゴエディア】！」

「うわああああ！！」

十代& a m p・明日香 LP - 3200

「ドロー！モンスターカード！ドロー！モンスターカード！ドロー！モンスターカード！ドロー！モンスターカード！」

「ぐわあああああああ！！！」

十代& a m p・明日香 LP - 8800

「ドロー！モンスターカード！ドロー！モンスターカード！ドロー！モンスターカード！ドロー！モンスターカード！ドロー！モンスターカード！ドロー！モンスターカード！」

すごいね…えっ止める？無理無理あんだけ調子に乗ってると恐らく止めに掛かった瞬間H A N A S E ！！とか言うだろう。誰かが止める、または止まるまで待とう

「ドロー！モンスターカード！ドロー！モンスターカード！ドロー！モンスターカード！ドロー！モンスターカード！ドロー！モンスターカード！ドロー！モンスターカード！」

「うわあああああああ！！！！！」

十代& a m p・明日香 LP - 25600

「ドロー！……罨カード【ドゥーブルパッセ】。よってここまで」

「……」

……みんなあまりのオーバーキルに唖然としてるよ…十代なんかく

らいすぎで気絶してるし

「じゃあ明日香。翔はつれて帰るぞ」

「…え、ええいいわ。今日は楽しいデュエルだった…わ…？」

……うん普通そういう反応するよね。

よいしょっと……案外十代って軽いんだな……船に乗せ翔も乗せ退散、
退散…

第5話 翔争奪戦？一触即発タッグデュエル！（後書き）

うん、ちょっと無理矢理だね…わかってる。
でもこのタッグで組ませたかったんだ！

魁「それにドゥーブルでバーサーカーできるのか？」

ですよね…ちなみにエルフの剣士でバーサーカーした理由は最初の遊戯王でエルフの剣士は散々な目に合ってたでそれでグレてバーサーカーしたと言う裏話があります…では次回予告！！

次の日は月1テスト！？

たくっ……対戦相手は万丈目か…
よし！ここでネタデッキ使うか！

次回！【宇宙人襲来！脅威のデッキ破壊戦術！】

第6話 宇宙人襲来！脅威のデッキ破壊戦術！（前書き）

どうも雷光です。

まあタイトルで今回使うデッキわかりますよね？

魁「当たり前だ」

そくだよね。では今回の最強カードは！？

魁「今回の最強カードは…【シールド・ワーム】？簡単にデッキ破壊するには普通【ニードル・ワーム】じゃないか？まあいいか…このカードは召喚、反転召喚、特殊召喚に成功した時守備表示になる。さらに自分フィールド場に表側表示で存在する昆虫族モンスターの数だけ相手のデッキのカードを墓地に送る。

この効果は相手ターン特殊召喚しても使えるから結構使えると思うぞ」

作者はデッキ破壊は好きですよ。でもいつか自分に対してのデッキ破壊のデッキを作りたい…

第6話 宇宙人襲来！脅威のデッキ破壊戦術！

今回は月1テストか…

試験問題の時のようにおかしい問題でてこないよな…

とりあえず早く行こうか

デュエル・アカデミヤ内

うん、ちょっと早く着いたちゃったね。テストまで残り10分…

何してようかな…

とりあえず実技テストではまだ使っていないデッキを使おう。

使っていないデッキは…ローレベル、ハンデス、ロック、エクゾディア、エクシーズ…そして新たに入れたデッキ破壊、無限ループ、3つ買いスターターデッキ改良版…

やっぱり3つ買いスターターはいいよね。3150円でそれなりの強さを誇るデッキが作れるし

どれにデッキ使おうかな……

ほかにも使いたいカードがあるけどどうもうまく作れない…例えば【ゲート・ガーディアン】【セイヴァー・スター・ドラゴン】【ライフ・ストリーム・ドラゴン】【機皇神マシニクル】とかその辺活躍させたいな…

とか考えてる間に筆記試験が始まった。じゃあ頑張ろうか！

第1問

【白魔道士ピケル】が被っている帽子は何の動物でしょう？

……だからこういう問題やめてくれませんか？

第2問

永続罨【最終突撃命令】のカードイラストに兵士は何人いる？

…わかるか！こんな問題！

第3問

罨カード【針蟲の巣窟】に蟲は何体いる？

巣窟ってこの頃からありましたっけ？

その後もよくわからない問題が出てきた…

それでもちゃんとした問題が20問もあつてよかった…

で現在、実技試験まで休憩タイム…どうやら新しいパックが入荷されたらしいけど俺多分持つているから買いに行きません

「魁！新しいパック買いに行こうぜ！」

十代がこっちに來た

「俺はパス。実技試験でどんなデッキを使おうか考えてるから」

「そうか！じゃあまた後でな！」

すぐさま立ち去る十代…さあーってと…どんなデッキで使おうかな？

「またお悩み事？ 魁」

「よおサクラ。実技テストで何使おうか考えてる最中…まだ使っていないデッキを使おうと思ってんだけど…」

「ふーん…そうだ！ドローパン買ってきたから食べる？」

ドローパン…それは全世界共通でデュエル・アカデミヤの名物…その名の通り選んで食べるまで何が入っているからわからないパン…まさしくギャンブルパン…

「デュエル・アカデミヤ名物ドローパンか…よし！1つ貰おうではないか！」

パシッと！俺は1つ取り勢いよく開けドローパンを食べた

「つて辛っ！！！？何この辛さ！？喉が逝かれちまいそう！！」

「あつそれ幻の激辛カレーDX味。確か通常の激辛の56倍の辛さを誇る生徒の中ではハズレと名高い幻のパン…」

KCめ！！よくこんなもん製品化したな！！

「ちなみにこの学園の中でたった1人だけこの激辛カレーDXを食

べれる人がいるらしいわ」

誰だよその生徒！！ぜひ会ってこのパン食べさせたいね！！

「じゃあ私も実技の準備してくるね」

どうぞ勝手に行ってくれ！…たく…今後一生ドローパンなんて食わん！！

その後辛さが引きデツキも決めた俺は十代と万丈目の戦いを見てたんだが……

「「はあ……………」」

「？どうして2人共ため息ついてるの？」

やっぱりサクラも同じこと思ってたか…

「サクラ、今回たまたま十代が勝ちを拾えてよかったな」

「そうね。万丈目がプレイングミスしなければ十代は負けてたわね」

「ちょっと2人共、どういう訳か説明して？」

あら？明日香はわかってないのか？

それともVWXYZの合体を見てその前の事に気づいてないのか？

「お前見てて気づかなかったのか？最初のVWの攻撃で十代のライ

フは2800になっていた。そして次のターン、XとYとZを召喚した。ここで合体してXYZにしたのが万丈目のプレイングミス」

「どうして？」

「それは私が説明するわ。XとYとZ召喚してそのまま攻撃すればいくら【ヒーロー見参】を使っても防ぎきれない。だけど手札にエツジマンがあつたら別だけど…」

その言葉に明日香がそんなミスが……と言っているが気づけよ。あんなの小学生でもミスしないと思うぞ

ほかには【ハネクリボーLv10】が出た時攻撃を中止すれば次のターンVWXYZの効果使ってLv10を除外してフェザーマン攻撃！それでもこの状況が続けば十代が【ホープ・オブ・フィフス】でも引いて自分フィールド、手札が0なので3枚ドローして原作効果バブルマンを召喚2枚ドローとか使って逆転するんだろうけど

「次は俺か。じゃあ頑張ってくる」

「じゃあ頑張ってきて」

そう言つて俺が決闘場^{デュエルフィールド}に行くところ…

「くっ…十代には負けたが魁！貴様だけには勝つてやる！」

万丈目がいるんですよ…何故？

「あの時散々馬鹿にして来なかった恨み！ここで晴らさせてもらつぞー！」

馬鹿にして来なかった恨み……？……ああ……そういえばメールで呼ばれてたな……でも俺サクラのほうに行ってて行けなかったんだよな
よしデッキホルダーからデッキを取り出しディスクにセット……

「「デュエル
決闘！！」」

明日香 Side

今まさに魁と万丈目君のデュエルが開始された……先攻は魁から今回はどんなデッキを使うのかしら？

「俺のターン、ドロー！………」

なんかすごい困惑顔になってるんだけど……もしかして手札事故？

「モンスターをセット！リバーカードを4枚セットしてターンエンド！」

いやこれは試験の時と同じ動き！という事はまた銀河眼を出すの？
ギョラクゾイス

「ふん！早速手札事故か！俺のターン、ドロー！魔法カード【打ち出の小槌】を発動！手札のこのカードを含む手札のカード3枚をデッキに戻し3枚ドロー！」

また出たわね。今度は魁やサクラが言っていたブレイジングミスをしなけばいいんだけど……

「【X ヘッド・キャノン】を召喚！さらに永続魔法【前線基地】！この効果で手札から【Y ドラゴン・ヘッド】を特殊召喚！ヘッド・キャノンとドラゴン・ヘッドを除外して合体召喚！【XY ドラゴン・キャノン】！行け！【XY ドラゴンキャノン】！ハイパー・デストラクション！」

「異発動！【和睦の使者】！このターン自分モンスターは戦闘では破壊されずこのターン発生する戦闘ダメージは0となる！そしてセットモンスターは【メタモルポット】！【メタモルポット】の効果発動！お互いの手札をすべて捨てその後お互いに5枚ドロースる！」

「なんだと…？くそ！俺の【Z メタル・キャタピラー】が…」

その言葉を聞いた瞬間魁は呆れ顔になった。なんで？

「くっ…ドロース！リバーズカードを2枚セットしてターンエンド！」

「俺のターン、ドロース！すまん、万丈目…俺の勝ちだ」

魁が勝利宣言？ということはこのターンで万丈目を倒すつもり？

「俺はモンスターをセット。そしてさらに魔法カード【太陽の書】！これでさっきセットしてモンスター【ニードルワーム】の表示形式を表側攻撃表示にする！【ニードルワーム】の効果発動！相手のデッキの上のカードを5枚墓地に送る！」

「はっ！それがどうした！」

確かにそんな効果どうって事ないわ。でもサクラはあちゃーって顔

してるし…魁は何かをするつもりなの？

「リバーズカードオープン！【リビングデットの呼び声】！この効果により【メタモルポッド】の効果で墓地に送られた【シールド・ワーム】を特殊召喚！【シールド・ワーム】の特殊召喚に対して手札から速攻魔法【地獄の暴走召喚】を発動！」

【地獄の暴走召喚】？いったいどんな効果かしら？

「【地獄の暴走召喚】の効果！自分が攻撃力が1500以下のモンスターを特殊召喚し相手フィールドに表側表示モンスターがいる時発動！相手は自分モンスター1体を選択しそのモンスターと同名モンスターを手札、デッキ、墓地から特殊召喚する！そして自分は特殊召喚されたモンスターを攻撃表示で特殊召喚する！ただし【XYドラゴン・キャノン】は融合モンスターだから特殊召喚できない」

「ふっ！雑魚を並べてどうする！」

「今からお前はその雑魚にやられんだぜ！デッキから【シールド・ワーム】2体を特殊召喚！【シールド・ワーム】の効果発動！このカードの召喚、反転召喚、特殊召喚時このカードは守備表示になる！さらに自分フィールドに存在する昆虫族モンスターの数だけ相手デッキの上のカードを墓地に送る！俺のフィールドに昆虫族は4体！そして特殊召喚した【シールド・ワーム】もこの効果が適用されるから合計12枚を墓地に送ってもらうぜ！」

「まさか…この戦術…」

まさか…この戦術…

「やった気づいたか！このデッキはデッキ破壊だ！そして俺はLv

4の【シールド・ワーム】2体でオーバーレイネットワークを構築！エクシース召喚！狂いし発条を修正する力！【発条機甲ゼンマイスター】！」

「……エクシース召喚！！？」「……」

魁はシンクロ召喚を行うからエクシース召喚もできると思ってただけ……まさか本当に使うなんて……

「さらにゼンマイスターの効果！1ターンに1度オーバーレイユニットを1つ取り除いて【メタモルポット】を裏側守備表示に変更する！そして手札から魔法カード【死者蘇生】！これにより墓地から【シールド・ワーム】を特殊召喚！【シールド・ワーム】の効果発動！今度は3枚墓地に送る！」

「そんな……俺のデッキが……」

「そしてさらにLv4の【シールド・ワーム】2体でオーバーレイネットワークを構築！エクシース召喚！狂いし発条を修正する力！【発条機甲ゼンマイスター】！そしてゼンマイスターの効果発動！1ターンに1度オーバーレイユニットを取り除き今度は【ニードルワーム】を裏側守備表示に変更する！エンドフェイズ！ゼンマイスターのもう1つの効果！このターン自身の効果で裏側守備表示にしたモンスターを表側攻撃表示にする！これにより【メタモルポット】と【ニードルワーム】を表側攻撃表示に変更！」

「あ……ああ……」

「まず【メタモルポット】の効果発動！お互いの手札をすべて捨てその後お互いに5枚ドロウする！次に【ニードルワーム】の効果発

動！相手のデッキの上のカードを5枚墓地に送る！」

万丈目君のデッキが…

「俺の……デッキが……0……」

『……し、勝者宗野カイー！！』

デュエルが終わった瞬間そそくさと逃げ出した魁……まさかここま
で強いとは…

第6話 宇宙人襲来！脅威のデッキ破壊戦術！（後書き）

今回はつまらない話ですね。

ただのデッキ破壊ソリティア…かな？

今後はデッキ破壊の出番ないかも

では次回予告！

今日も今日で楽しい学園生活！

怪談話をしてみんなで探検に行こう？

よし話乗った！

次回！【VSタイタン！悪魔と天使の大決戦！】

次回もお楽しみに！！

魁「そして次回ついにストックが切れる！」

それはヤバイ！！

第7話 VSタイタン！悪魔と天使の大決戦！（前書き）

魁「まあ大決戦というほど派手な戦いではないと思うがな」

……ズー……

……ストックが切れたな……やばいな……

魁「そんなに前書きが落ち込めると見てくれる人が右上のバツを押すぞ！」

そうだな……

……では！心を再起動させ！魁！今回の最強カードは！？

魁「オッケー！今回の最強カードは【デビルマゼラ】！

このカードは通常召喚できない。このカードは【万魔殿 悪魔の巣窟】があつて自分フィールドに表側表示で存在する【ゼラの戦士】を生贄にささげて特殊召喚できる！

このカードが特殊召喚に成功した時相手の手札を3枚ランダムに墓地に送る！この効果は【万魔殿 悪魔の巣窟】がないと発動できないけど召喚時限定なのでなんか微妙効果だぞ！」

【デビルマゼラ】誰かに盗まれました。まあ今はドラグやジャンド使うからいいんだけど……

諸事情によりデュエルを少し変更

第7話 VSタイタン！悪魔と天使の大決戦！

どうも皆様魁です。前回のデッキ破壊はやりすぎた…以後反省
それで今十代達と特殊な怪談話をしてるんですが…

「なにこれえ？またエクシーズモンスターかよ」

「あちゃー…これで魁は3回連続パスか…魁の話も聞いてみてんだ
けどなー…」

「僕はごめんッス」

「俺もなんだな」

そう…この怪談話…デッキから引いたモンスターのLvの数と同じ
Lvぐらいと思われる怪談話をしなければならないのだが…そう
エクシーズモンスターはLvではなくランク。それで俺だけエクシ
ーズモンスターを引いてパス…俺だけハブられてる…

「みんな…何してるんだニヤ？」

「うわぁ！大徳寺先生！」

俺も一瞬ビックリした！いきなり出てこないでくれ、大徳寺先生！

「今みんなと怪談話してるッス」

「怪談話かニヤ…」

そう言つて大徳寺先生はカードをめくつた…Lv12【F・G・D】
？俺入れた覚えねえぞ。仮に誰か持つてたとしてもこの世界だと数
千万するぞ？

「みんなこういう話聞いたことがあるかニヤ？」

十代はワクワクしながら大徳寺先生をほうに行き翔と隼人はすでに
壁側に行きビクビクしている…お前らビビるの早過ぎ…！

「ここデュエル・アカデミヤには昔、特待生寮があつたニヤ」

その後大徳寺先生の話は続き十代はワクワクしたまま聞き翔と隼人
は壁側で耳を塞いでいる

まあ怪談話はいたつてシンプル。その特待生寮で行方不明者が出た
らしい

…で大徳寺先生が立ち去つた後好奇心旺盛な十代が一言

「よし！その廃寮に探検しに行こうぜ！」

「俺もその意見には賛成。で翔、隼人お前らがどうする？どんな返
事しても拒否権は無いがな」

「ひ、ひどいッス！」「そうなんだな！」

「じゃあ廃寮の探検に行つてみよう…！」

実は俺怪談話とか夜の学校探検とか好きなんだよ…！

さあーで、準備準備…

という訳で廃寮に着いたんですが、原作だところで明日香と会うはずなんだけど…俺が入った事で時間がズレて鉢合わせしなかったのかな？

しかし見事な壊れよう……窓ガラスは割れところどころに蜘蛛の巣…廃寮越えてドラキュラ城になってんじゃないか？

「アニキ！もう帰ろうよ！」

「いいじゃん！早く行こうぜ！」

てかこの廃寮に何があるかな？死体は嫌だけどミイラとかあるといいな！

「うわ……真っ暗ッスね……」

「気味悪いんだな」

気味が悪いからこそ面白いんだろ？それをわかってくれないとは…ん？下に写真が……

「きゃあああああああああ！！」

「この声！？」

「明日香の声だ！」

そつだ！この写真と悲鳴で思い出した！確かこの先には……

「みんな！声がした方向に行くぞ！」

「ようこそお……我の名前はタイタン……」

出た————！！若本！

この癖のある声……喋り方……こいつは本物の若本だ！

「そこのお……貴様らあ……特に魁と十代とか言う奴う……ここで我とデュエルをしろお……貴様らあが勝つたら……この女を帰してやる……」

「いいぜ！受けてたつてや「待て！十代！ここは俺にやらせてくれ！」「わ、わかった（魁がすげえワクワクした目になってる……）」

確か若本と戦える最初で最後の場面だろ！ここは俺がやりてえ！

「魁……貴様から来るのか……いいだろう！受けてやろう……ただし……闇のゲームだ！」

「いいぜ……受けて立ってやる、闇のゲーム！」

まあ偽なんだけど

「「^{デュエル}決闘！」」

「負けるなよ、魁！」

「頑張れ！」

「気張るんだな！」

ギャラリィ……応援してくれるのは嬉しいけど少し黙ってくれ

「我が先攻……ドロォー！」

あつとか言っている間に先攻とられた

「手札の【ジェネラルデーモン】を墓地に送りデッキから【万魔殿
バシレイム
悪魔の巣窟】を手札に加ええ……そのまま発動！」

辺り一帯が気味悪いフィールドになった……うん俺結構こついうの好みだぞ

けど……今回の俺のデッキ。それとは真逆だぜ？

「そして【デーモン・ソルジャー】を召喚！リバースカードをセツトしてターンエンドだあ……」

「俺のターン、ドロォー！手札から永続魔法【神の居城 ヴアルハラ】を発動！そしてヴァルハラの効果発動！自分フィールドにモンスターが存在しない時手札から天使族モンスター1体を特殊召喚する！」

「なんだとお！」

「この効果で【天空勇士ネオパーシアス】を特殊召喚！そして墓地にモンスターがいなかったため【ガーディアン・エアトス】を特殊召喚！バトル！ネオパーシアスで【デーモン・ソルジャー】に攻撃！」

「ぐう！」

タイタン LP 3600

「ネオパーシアスの効果で1枚ドロ！エアトスで直接攻撃！ダイレクトアタックフオビドウン・ゴスペル！」

『はああああ！！』

エアトスが地面に光の剣を刺しその余波が若本に向かう…

「暴発動！【ドレインシールド】！相手モンスターの攻撃を無効にしその攻撃力分だけ自分ライフを回復させる！」

若本の周りにバリアが張られエアトスの攻撃は2つに割れ周囲の壁にぶつかった

タイタン LP 6100

「これでターンエンド」

「私のターン、ドロ！手札から装備魔法【早すぎた埋葬】を発動…」

もういいよ、禁止カードね。はいはい進めて進めて

「この効果によりライフを800払い墓地から【デーモン・ソルジャー】を特殊召喚！さらに【デーモン・ソルジャー】を生贄にしてえ…【迅雷の魔王 スカル・デーモン】を召喚！」

タイタン LP5300

出たよ。リメイク版【デーモンの召喚】確か効果は相手のカード効果の対象になった時だけ発動するはず

「そして装備魔法【デーモンの斧】をスカル・デーモンに装備！これで攻撃力は3500だ！行け、スカル・デーモン！【ガーディアン・エアトス】に攻撃い！怒髪天昇撃！」

「くっ…くそ！」

魁 LP3000

「そしてライフを減ることでこいつの体は消えるう…リバーサイドをセツトしてターンエンドだあ…」

俺は光を見ない為に目を瞑り光がやんだら目を開けた。十代達がなんか消えてるとか言っているけど無視

「俺のターン、ドロー！【ジェルエンデュオ】を召喚！そして魔法カード【デュアルサモン二重召喚】を発動！このターンもう1度通常召喚を行える。そして【ジェルエンデュオ】は天使族・光属性モンスターを生贄召喚をする時このモンスターは1体で2体分の生贄にできる！」

「なんだとお！」

「【ジェルエンデュオ】を生贄にして【マスター・ヒュペリオン】を召喚！ヒュペリオンの効果発動！墓地の【ジェルエンデュオ】を除外してスカル・デーモンを破壊！」

後はこれでスカル・デーモンの効果がはずれさえすれば…！

「スカル・デーモンの効果発動！このカードが相手のカード効果の対象になった時サイコロを振り、出た目が1・3・6だったらその効果を無効にして破壊する！」

回りだしたサイコロ……出た目は…2！

「ば…馬鹿な！」

驚いてても万魔殿^{バンディモニウム}の効果で手札に【デーモン】を加えるのね。えらい、えらい

「これでお前のスカル・デーモンは破壊！行け！すべてのモンスター^{ダイレクトアタック}で直接攻撃！」

「ぶるるるあああ…！」

タイタン LP300

「ネオパ・シアスの効果で1枚ドロー。これでターンエンドだ」

「私のターン、ドロー！ふっ！魔法発動【命削りの宝札】！」

困った時のご都合ドロー…あれ？もしかして俺に負けフラグ？

「この効果により手札が5枚になるようにドローし5ターン後すべての手札を墓地に送るう！ドロー！」

にやけたぞ！今引いたカード見てにやけたぞ！

「来たあ…来たぞお…我がデッキの最強カード!!」

「そんな!? スカル・デーモンが切り札じゃないのか!？」

いや十代。誰も切り札とは言ってないぞ。勝手に思い込んでるお前の頭の乏しさに俺は再び泣きそうになるぞ

「私は【ゼラの戦士】を召喚!」

ゼラの戦士…万魔殿…あれをだすつもりか!

「【ゼラの戦士】を生贄に…我が最強の悪魔! 【デビルマゼラ】を特殊召喚! そして【デビルマゼラ】の効果発動! 相手の手札を3枚ランダムに捨てる…もっともお…貴様の手札は2枚のみだからそれを捨ててもらおうお…」

「くそ! エンジェルナイト【天空騎士パ・シアス】と【堕天使アスモディウス】が…」

「そして装備魔法【デーモンの斧】を【デビルマゼラ】に装備! 【デビルマゼラ】で【マスター・ヒュペリオン】に攻撃! 魔界の咆哮!」

【デビルマゼラ】が右手の爪に闇のパワーを集めそれでヒュペリオンを切った!…えっ? これで咆哮?

魁 LP1900

「驚きすぎて声もお出ぬかあ…これでターンエンドだ」

今、俺のフィールドには【エンジェカレイブ天空勇士パーシアス】1体のみ…永續魔法のヴァルハラは役にたたない…そして手札は0……面白い！ここから逆転してやるよ！

「俺のターン、ドロー！……リバースカードをセットしてネオパーシアスを守備表示にしてターンエンド……」

「ははは！我の勝ちはもうすぐだ！ドロー！【デーモン・ソルジャー】を召喚！【デビルマゼラ】でネオパーシアスに攻撃！魔界の咆哮！」

「まずいぞ！このままだと魁が負ける！」

「これで終わりだ！【デーモン・ソルジャー】で直接攻撃！ダイレクタタックはははは……」

「魁……っ……！」

「お前ら少し黙れ！！速攻魔法発動【収縮】！これで【デーモン・ソルジャー】の攻撃力を半分にする……」

魁 LP 950

「ちっ……倒しそこねたか……これでターンエンド……」

これで真正正銘の最後のドロー……負けても死ぬ訳じゃないけど負けるのは悔しい……だから……俺は勝つ……！

「……俺の……ターン……！」

引いたカードは……

「来た！魔法カード【貪欲な壺】を発動！墓地の【マスター・ヒュペリオン】^{エンジェルレイフ}【天空勇士ネオパーシアス】^{エンジェルナイト}【ガーディアン・エアトス】
【墮天使アスモディウス】^{エンジェルナイト}【天空騎士パーシアス】をデッキに戻し
2枚ドロ―！」

これで俺の勝利の方程式は完成した……

「たかが手札が2枚で何ができるう？」

「手札が2枚もあれば十分だ！ヴァルハラの効果発動！自分フィールドにモンスターが存在しない時手札の天使族モンスターを1体特殊召喚する！来い！闇に堕ちし大天使の翼！特殊召喚！【墮天使ゼラート】！」

「だが攻撃力2800で何ができる！」

「こうすればいいんだよ！【墮天使ゼラート】の効果発動！手札の闇属性モンスター【クリボー】を墓地に送り相手モンスターをすべて破壊する！」

「バカなあー！」

「よっしゃー！」

喜ぶ十代、そして行けー！という翔、泣きながらやっただなと言っている隼人……別にこれ命がけのデュエルじゃないから平気だぞ？

「【墮天使ゼラート】で直接攻撃！すべて消し去る一撃……フォーリン・ジャッジメントー！」

「ぐわああああー！！」

タイタン　LP - 2500

「約束通り明日香は返してもらっぜ」

「くっ…勝手にしろ！」

そう言っこの部屋から出て行つた若本…あっあいつ名詞落としやがった。とりあえず拾っておくか

「しかし楽しい探検だったなー！」

「ちっとも楽しくないーい（だな）ー！！」

十代が言つた一言に翔と隼人は怒つた。まあまあ…また今度ここに来ましょーよ

第7話 VSタイタン！悪魔と天使の大決戦！（後書き）

という訳で若本は飲み込まれませんでした。あんなにキャラが濃いの
に原作では出番が少なすぎて私ショックでした。

魁「しかし廃寮探検楽しかった！」

では次回予告！

えっ！？廃寮に探検に行ってた事がバレ退学！？

しかし処置として十代と翔はタッグ、俺はシングルで勝てば許す！？
良いぜ！その条件受けてやる！

次回！【歴代ドラゴン集結！青と真紅と五竜と宇宙】

次回もお楽しみに！

第8話 歴代ドラゴン集結！青と真紅と五竜と宇宙 前編（前書き）

今回は長くなったので前編と後編に分けちゃいました。
もしかして今回は糞展開かもしれません！！いやな方は回れ36
0度！

魁「変わってないじゃん」

または右上のバツを押してください
そして今回の最強カードは！？

魁「もう！？こ、今回の最強カードは【ライフ・ストリーム・ドラ
ゴン】！

このカードをシンクロ召喚する時シンクロ素材は【パワー・ツール・
ドラゴン】とチューナー1体が必要だぞ！

このカードのシンクロ召喚に成功した時自分のライフを4000に
する事ができる。このカードが表側表示で存在する限り自分への効
果ダメージを無効にする。このカードが破壊される時代わりに自分
墓地の装備魔法を1枚除外することができる！
専用デッキを作れば結構強いぞ！」

では本編行ってみよう！

第8話 歴代ドラゴン集結！青と真紅と五竜と宇宙 前編

??? Side

「宗野…魁か…」

今俺はある人物の情報を見ている…
…特におかしいところはないが…

「エクシーズ……召喚…」

デュエル・アカデミヤの校長、鯨島から聞いた話によると宗野魁は
謎の召喚方法エクシーズ召喚をしたらしい
俺は宗野魁の情報が入った紙をデスクに置きその隣の紙を見た

「……天城…サクラ…」

デュエル・アカデミヤの試験会場で謎の召喚方法シンクロ召喚だした
女子生徒

……そして……遊戯以外に負けた事が無い俺を…倒した…ただ1人
デュエリスト
の決闘者…

俺はしばし考えある結論にたした

「宗野魁は……天城サクラと同じ『転生者』か……」

見たことが無い召喚方法……天城サクラが言っていた情報…
ギョラクファイブ
そして銀河眼…

これだけあれば宗野魁が転生者だとすぐわかる…

「…磯野」

「はっ！」

「ペガサスに例の物が出来てるか聞いて来い」

「はっ！」

ふうん…面白い…

近日中貴様の實力見させてもらおうか！！

魁Side

「へつくしょん！！ああ…寒くなんか無いのにくしゃみとか…誰か俺の噂をしているのか？」

それとも若本と戦った寝ずにデッキ作成していたからそれで風邪ひいたか？

しかしこのデッキ…バランスが…もう少し特殊召喚のギミックを入れるか？

いやそれともモンスター、魔法、畏対策を入れたほうがいいか！？
どうしよう…

「おい！今すぐここを開けろ！さも無いと爆破させるぞ！」

誰だよ来たの…

しかも今すぐ開ける？さも無いと爆破？はぁー…今時そんなの子供でも引ッ掛かりしないって

「開く気配が無いな……よし今すぐC4爆弾を取り付けるぞ！」
「了解！！！！」

「ちょっと待て！それ死ぬぞ！扉が盾にもならず死ねから！！」

俺が勢いよく開けた先にC4爆弾を持っている生徒が数名…怖！！

「倫理委員会の者だ。おとなしくついてこないとこのAK 47で撃つぞ」

「冷静に怖いと言わないでください！！そして銃刀法違反で捕まりますよ貴女！！？」

「大丈夫です。倫理委員会ですから」

どこが大丈夫なんだよ！！

でも死にたくないから素直について行っただけ…

「た、退学！！？」

『あなたがたは深夜立ち入り禁止の特待生寮に入り、中から物を破損及び盗んだという証言がありました』

確かに俺達は立ち入り禁止の特待生寮に入った！しかも俺、中で気味悪い頭蓋骨があったから遊び半分で蹴ったら割れたし！帰る途中にお金（50円）を拾ったし！若本が落とした名刺を拾ったし！くそ！！反論できない！証言が完璧すぎる！！

「ちょっと待て！確かに俺達は廃寮に入ったけど物を壊したり、物を盗んだ覚えは無いぞ！」

『そうですか……ではここは制裁デュエルで決めましょうか』

「制裁デュエル？」

デュエルで決めるんですか……明日香と同じだな

聞いた話によると十代と翔はタッグ、俺だけシングルらしい
勝ったら無罪放免、負けたら退学……正確には俺だけ負けても謹慎らしい……

恐らく成績はそれなりに良いしまだ銀河眼の件があるからだな。
いや……まさかこんなところまで銀河眼が効いているとは……
そんでやるのは数日後。それまでの間にデッキ調整をしろと……

「とにかくデュエルで勝てばいいんだな！！」

『そういうことですね』

「よし、わかった！翔！帰って早速特訓だ！」

「待つてよ、アニキ！」

いやー……若いっていいね……あんな元気で……

……はっ！今、俺すげえおっさんぽい事言っちゃった！！

んで帰って来てただいまデッキ調整……

やはり【巨竜の羽ばたき】を入れておくか？本当なら【大嵐】入れたいけどこっちの禁止制限だと禁止だから使えない…

…手札交換のために【手札断札】入れておくか？いやむしろ【手札抹殺】を入れておくか

そんな事してる内に日はどんどん進んで行き……

制裁デュエル当日

うん！いい感じに出来てんじゃない？前と比べたら事故率が減ったぞ！ほんのすこし……

しかしこのデッキ【サイバードラゴン】も入れたかったな……

でも【サイバードラゴン】入れても【トレード・イン】のコストにならんないし機械族だからこのデッキのシナジーしないし……

だから事故要員になっちゃんだよね。すまん……いつか専門デッキ作ってやるからな

後、前日サクラがカイザーを殴ったらしい。しかも喧嘩じゃないらしいデュエルで……まさかサクラがリアルダイレクトアタックするなんて……でもその前に闇のゲームじゃないから殴っても痛くないだろ？となるとサクラが直に殴ったのか？デュエル中にどうやって……？

とか考えてる間に十代達が入場……相手は迷宮兄弟か……

開始1ターン目は皆様子見…かと思いきや弟が【生け贄の^{ドール}人形】を発動。これで【風魔神 ヒューガ】が出てきた。なるほど…効率は悪いけど【ゲート・ガーディアン】デッキ作成の為に参考になるな…

さらに魔法カード【闇の指名者】兄を指名し【雷魔神 サンガ】を宣言。兄は自分のデッキから【雷魔神 サンガ】を手札に加える。【闇の指名者】ってそんな使い方があったんだ…

翔が融合を発動…これで【スチームジャイロイド】を召喚。そして攻撃。しかしヒューガがその攻撃を無効。

ヒューガは原作効果か……

個人的には【スチームロイド】召喚して攻撃、その後融合だな。まあどっちにしる防がれるんだけど…

兄は魔法カード【死者蘇生】でさっき【生け贄の^{ドール}人形】で墓地に送られた【地雷蜘蛛】を特殊召喚。そして再び【生け贄^{ドール}人形】の効果で墓地に送られ【水魔神 スーガ】が出た。さらに【カイザーシーホース】を生贄にして【雷魔神 サンガ】を召喚、そしてそのまま合体！【ゲート・ガーディアン】！……今合体しないでいいだろ

その後頑張って十代達は【ゲート・ガーディアン】を倒したが兄のターンでアニメオリジナル魔法カード【ダーク・エレメント】を発動。ライフを半分払いアニメオリジナルカード【闇の守護神 ダーク・ガーディアン】を特殊召喚。でも攻撃力3850で戦闘破壊されない効果って……いらないだろ

んで攻撃。しかし十代は罠カード【ヒーローバリア】で阻止。それで兄のターンは終了

落ち込んで翔に十代は励ましの言葉を出す

翔は立ち直りました。頑張れ、頑張れ

…えっ？もう少し心配しろ？大丈夫だろ。ここで負けるとアニメが続かないから勝つつて

十代のターン、【E・HEROテンペスター】を融合召喚。スカイスクレイパーを発動。テンペスターでダーク・ガーディアンに攻撃！？何をやりたいんだ十代！？

弟のターン、罨カード【一騎打ち】を発動。だけど外のジェット機の音で効果が聞こえない！

弟はそのままターンエンド。何がしたかったんだ？そいで翔のターン、【ドリルロイド】を生贄にして【ユーフォロイド】を召喚。魔法カード【パワーボンド】効果は知っているから良いけど何言ってるか、外のジェット機の音でわからん！

テンペスターと【ユーフォロイド】を融合。【ユーフォロイド・ファイター】……乗っただけで攻撃力も合体とか……【ゲート・ガーディアン】可哀想…【ゲート・ガーディアン】なんかくつついただけで三魔神の攻撃力合計から2割れたんだぞ？しかも【パワーボンド】だから攻撃力は倍……スタッフ、あんたたちは【ゲート・ガーディアン】が嫌いなのか！？

そんで【ユーフォロイド・ファイター】で攻撃。迷宮兄弟のライフは0。これで十代達の勝利、退学は免れたがその代わりレポート30枚……ひどいね

次は俺か。さあって対戦相手は誰だろうな？

「それでーハ！ただいまより制裁シングルデュエルを始めるノーネ！」

会場は一気にボルテージマックス！十代達やオシリスレッドが頑張れとか言っているけど対するオベリスクブルーは負けちまえと言っている……俺を倒せる奴なんてそうそういないって

いるとしたらメインの原作キャラ、原作のボスキャラ、サクラぐらいだろ。ああ後、若本

「では対戦相手入所ジョー！！」

ダーーーーッ！！とでかい音と煙が出てきてそこから出てきたのは……

「う………そ………だろ？」

対戦相手は……

「ふうん、宗野魁。制裁デュエル及び今学期中の約束と為に態々来てやったぞ」

「宗野カイーの対戦相手はかの有名な会社、KC社長『海馬瀬人』なノーネー！！」

「……………うおおおおお！！」「……………」

あの、白いコート……

気高い目……

腕を組み威風堂々歩いてくるこの姿……

まさしく…本物の海馬社長…

……たく…今回は【フルバーン】のデッキにするつもりだったけどやめた。ここは数日前から組んでいたこのデッキを使わせてもらおうか…

「手加減はせんぞ」

「わかってますよ」

全力で行かせてもらっぜ！海馬社長！

「^{デュエル}決闘！」

「俺のターン、ドロー！……魔法カード【手札抹殺】を発動！お互いの手札をすべて捨て！その後捨てた枚数分デッキからカードをドローする！」

「くっ！おのれ……！！」

海馬社長が捨てたカードは……

ブルアイズ ホウホウチャゴン

【青眼の白龍】

ブルアイズ ホウホウチャゴン

【青眼の白龍】

ブルアイズ ホウホウチャゴン

【青眼の白龍】

【融合】

【融合解除】

はあ！！？

【手札抹殺】が無ければ1ターンキルされてたぞ!!

「…手札をモンスターカード【グローアップ・バルブ】を墓地に送って手札から【THEトリッキー】を特殊召喚!さらにトリッキーのLvを1つ下げ【手札抹殺】で捨てた【レベル・ステイラー】を特殊召喚!さらに永續魔法【冥界の宝札】を発動!トリッキーとステイラーを生贄にささげ…【銀河眼の光子竜】キャラクター フォトドラゴンを召喚!【冥界の宝札】の効果で2枚ドロ!リバーカードを2枚セットしてターンエンド!」

このデッキは試験の時に使ったデッキをある方面を少し入れたデッキ……生贄召喚が少し少ないけどそれでも【冥界の宝札】が無いと回りにくいデッキ…初手に来てよかった

「俺のターン、ドロ……ふふふふ…ふはははははは!!貴様、ブルサイズいくら青眼を墓地に送ったとはいえそれで安心するのはまだ早いぞ」

「何だと!」

まさか【ネリフンブルー龍の鏡】を使う気が!

「見るがいい…貴様よく知っているやりかただ…相手フィールドのみにモンスターが存在する場合!このカードは手札から特殊召喚できる!俺は【バイス・ドラゴン】を特殊召喚!」

「バ、【バイス・ドラゴン】!?」

そのカードは5D、sから出たカード…何故海馬社長が持つてる…

「さらにチューナーモンスター【ゾンビキャリア】を召喚!」

まさか……

「Lv5【バイス・ドラゴン】にLv2【ゾンビキャリア】をチューニング！無数なる武器を持つ竜よ！この俺に勝利という名の武器をかざせ！シンクロ召喚！【パワー・ツール・ドラゴン】！」

本当に……シ、シンクロ召喚を……

「手札から魔法カード【魂の開放】を発動！この効果で墓地の青眼フルサイズ3体を除外！そしてライフを2000払い【次元融合】を発動！お互いに除外されてるモンスターを可能な限り特殊召喚する！俺の元フルサイズに来い！青眼！」

海馬 LP2000

「さらに魔法カード発動【二重召喚^{デュアルサモン}】！このターンもう1度通常召喚を行える！俺はチューナーモンスター【グローアップ・バルブ】を召喚！」

「【パワー・ツール・ドラゴン】の効果！デッキから装備魔法を3枚選びその内3枚をランダムに手札に加える！ふうん…このカードか…」

来る！もう1度！シンクロ召喚が！

「俺はLv7【パワー・ツール・ドラゴン】にLv1【グローアップ・バルブ】をチューニング！数々の武器を持つ竜を！今真の姿を現せ！シンクロ召喚！【ライフ・ストリーム・ドラゴン】！」

……それで【次元融合】のライフコストを無くすのか…

「【ライフ・ストリーム・ドラゴン】の効果！このカードのシンクロ召喚時ライフを4000にする！アーハハハハハハ！！！」

海馬 LP4000

「さらに装備魔法【ビックバン・シュート】を^{フルサイズ}青眼に装備！攻撃力が400ポイントアップ！これで終わりだ！【ビックバン・シュート】を装備してる^{フルサイズ}青眼で^{ギャラクシャイズ}銀河眼に攻撃！滅びの…バースト・ストリーム！！！」

「カウンタ・畏発動！【攻撃の無力化】！相手モンスターの攻撃を無効にしバトルフェイズを終了させる！」

「ふうん…悪あがきか…俺はこれでターンエンド」

いつまでも驚いてる場合じゃない…冷静なれ…そして勝つんだ！負けたら退学だ！（負けても謹慎ということを忘れてます）

「俺のターン、ドロー…墓地の【グローアップ・バルブ】の効果発動！この効果でデッキトップを墓地に送りこのカードを墓地から特殊召喚！^{ギャラクシャイズ}銀河眼のLvを1つ下げ墓地からステイラーを特殊召喚！Lv1の【レベル・ステイラー】にLv1【グローアップ・バルブ】をチューニング！アクセル全開！トップスピードでこの決^{デュ}闘場を駆け抜ける！シンクロ召喚！希望の力【フォーミュラ・シンクロン】！【フォーミュラ・シンクロン】の効果で1枚ドロー…^{ギャラクシャイズ}ドローした【ジェスター・コンフィ】を特殊召喚！さらに^{ギャラクシャイズ}銀河眼のLvの1つ下げ墓地からステイラーを特殊召喚！【ジェスター・コンフィ】とステイラーを生贄にして【レッドアイズ・ダークネ

スメタルドラゴン】を召喚！【冥界の宝札】の効果で2枚ドロー！」

「そんなに頑張っても最高攻撃力は3000…拍子抜けだな…」

「まだまだ行くぜ！【レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴン】の効果発動！この効果により墓地から【ライトバルサー・ドラゴン】を特殊召喚！Lv6【ライトバルサー・ドラゴン】にLv2【フォーミュラ・シンクロン】をチューニング！宇宙に輝く星よ！俺に揺るぎ無き力の一端を！シンクロ召喚！飛翔せよ！【スターダスト・ドラゴン】！リバーカードオープン！永続罫【リミット・リバー】！この効果で墓地から攻撃力1000以下のモンスター【フォーミュラ・シンクロン】を特殊召喚！」

……………クリア・マインド！！

「Lv8【スターダスト・ドラゴン】にLv2【フォーミュラ・シンクロン】をチューニング！集いし夢の結晶が新たな進化の扉を開く…光さす道となれ！アクセルシンクロ！！」

「……「スターダストが消えた!?」……」

「生来せよ！【シューティング・スター・ドラゴン】！！」

「だが攻撃力は3300！少し足りなかったな！」

「別にいいんだよ！【シューティング・スター・ドラゴン】の効果！デッキの上のカードを5枚めくりその中のチューナーモンスターの数だけこのカードは攻撃できる！そしてめくった後デッキをシャッフルする！」

ここで最低2枚ださなければ次のターン、海馬社長の攻撃は耐え切れない！頼むぜ俺のデッキ！

「1枚目！【手札断殺】！2枚目！チューナーモンスター【エフェクト・ヴェーラー】！3枚目！【竜の転生】！4枚目！【ダンディライオン】！5枚目！……よし！チューナーモンスター【ゾンビキャリア】！これでシューティング・スターは2回攻撃できる！」

「何い！！？」

「バトル！シューティング・スターで青眼ブルサイズを攻撃！スターダスト・ミラーージュ！」

「ぐっ……青眼ブルサイズ！」

海馬 LP3700

「さらに続けてシューティング・スターでもう1体の青眼ブルサイズに攻撃！スターダスト・ミラーージュニレンドア！！」

「くそ！決してただではすまんぞ！！」

海馬 LP3400

「銀河眼で【ライフ・ストリーム・ドラゴン】に攻撃！破滅のフォトン・ストリーム！」

「ちっ……」

海馬 LP3300

さすが海馬社長…嫁以外のドラゴンには反応がうすいッスね

「リバースカードをセットしてターンエンド！」

会場の皆さん、ドデカイ竜がいつぱいいるから啞然としている……
しかし何故海馬社長がシンクロ召喚を？

第8話 歴代ドラゴン集結！青と真紅と五竜と宇宙 前編（後書き）

最初の???の意味ねえWWW
では次回予告！

さすが海馬社長…俺の出した戦略を倒すなんてな…
でも俺も負けちゃいないぜ！
これが俺の切り札だ！

次回！【歴代ドラゴン集結！青と真紅と五竜と宇宙 後編】

次回もお楽しみに！

第9話 歴代ドラゴン集結！青と真紅と五竜の宇宙 後編（前書き）

昨日ZEXALのカイト様かつこよかった！！

だけどどこから免許を取った……？では今回の最強カードは！？

魁「今回の最強カードは………無し！！？………どういうことだ！！？」

それはどれを最強カードにしたらいいかわからなかったから……

はい、嘘です。今回は最強カードを出すと本編のネタバレ臭がするのでやめました。

では本編にどうぞ……

第9話 歴代ドラゴン集結！青と真紅と五竜の宇宙 後編

「俺のターン、ドロー！手札から魔法カード【天よりの宝札】を発動！お互いのプレイヤーは手札が6枚になるようにカードをドローする！」

うわぁ…最悪効果だな、おい

とりあえずフィールド状況はお互いの手札は6枚、俺のフィールドには銀河眼とレダメ、シユーティング・スターとリバースカード1枚、そして無駄にある永続罠【リミット・リバース】

海馬社長は装備魔法【ビックバン・シユート】を装備して攻撃力が3400になつてる青眼1体のみ、リバースカードは無し……

圧倒的に俺が有利だけど手札6枚もあれば立て直せる…油断はできないな…

「さらに魔法カード【強欲な壺】を発動！デッキからカードを2枚ドロー！魔法カード【滅びの爆裂疾風弾】を発動！これで貴様のモンスターをすべて破壊だ！」

「【シユーティング・スター・ドラゴン】の効果発動！1ターンに1度フィールド場のカードを破壊する効果を無効にして破壊する！」

「ちっ！ただこれ終わると思うなよ。魔法カード【龍の鏡（ミラー）】を発動！この効果により墓地の青眼2体とフィールドの青眼を除外して来い！最強のしもべ！降臨せよ【青眼の究極竜】！さらに手札の【スポーア】を墓地に送って【THEトリッキー】を特殊召喚。そして【ジャンク・シンクロン】を召喚【ジャンク・シンクロン】の効果で墓地から【ゾンビキャリア】を特殊召喚！Lv5

【THEトリッキー】にLv3【ジャンク・シンクロン】をチューニング！見るがいい…これが絶対なる力の象徴！シンクロ召喚！【レッド・デーモンズ・ドラゴン】！さらに魔法カード【死者蘇生】を発動。これにより貴様の墓地から【ライトパルサー・ドラゴン】を特殊召喚する。Lv6【ライトパルサー・ドラゴン】にLv2【ゾンビキヤリア】をチューニング！吹きすさぶ風から舞い上がる黒羽の翼！その翼の正体をさらせ！シンクロ召喚！【ブラックフェザー・ドラゴン】！」

んな馬鹿な！！ここまでお互いのフィールドにドラゴンなんてそうそう並ぶか！？

てか海馬社長プレイングミスしてる！あるかわからないけどここは【スカーレッド・ノヴァ・ドラゴン】を出そうよ！墓地のバルブの効果まだ使ってないからいけるし！

「そして魔法カード【貪欲な壺】を発動！墓地の【ジャンク・シンクロン】【ライフ・ストリーム・ドラゴン】【パワー・ツール・ドラゴン】【THEトリッキー】【バイス・ドラゴン】をデッキに戻しシャッフル！そして2枚ドロー！バトル！まずはその目障りな竜を破壊してやる…【青眼の究極竜】ブルサイズ アルティメットドラゴンで【シューティング・スター・ドラゴン】に攻撃！アルティメット・バースト！！」

「【シューティング・スター・ドラゴン】の効果！相手モンスターの攻撃宣言時このカードを除外をして相手モンスターの攻撃を無効にする！」

ふう、危ない危ない……今思ったけど【天よりの宝札】使って早速手札が1枚とか…どんだけ回したんだよ、海馬社長…

「だけどこの攻撃は避けられまい！【レッド・デーモンズ・ドラゴ

ン】で【レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴン】に攻撃！灼熱のクリムゾン・ヘルフレア！！」

「くっ…！ダメージを受けた事で手札から【トラゴエディア】を特殊召喚！そして【トラゴエディア】の攻撃力は手札の枚数×600！よって攻撃力3000！」

魁 LP3800

「【ブラックフェザー・ドラゴン】で銀河眼に攻撃！そしてダメージステップ時に手札から速攻魔法【突進】を発動！これで攻撃力が700ポイントアップ！蹴散らせ！ノーブル・ストリーム！」

「ぐっ……まだまだ！」

魁 LP3300

「俺はこれでターンエンドだ。貴様のフィールドにモンスターが0今の内にサレンダーをするんだn「エンドフェイズ時自身の効果で除外された【シューティング・スター・ドラゴン】の効果！除外されてるこのカードを特殊召喚する！」何！！？」

やっぱり海馬社長にブラフは通じないか…しかしひどい有様……自分モンスターがほぼ全滅…残っているのは【トラゴエディア】とシューティング・スターのみ…リバーカードはブラフの【魔法石の採掘】…だけどこの手札なら…やれる！

「俺のターン、ドロ―！【トラゴエディア】の効果発動！このカードはLvを墓地の【ライトパルサー・ドラゴン】と同じLv6にする。そして【トラゴエディア】のLvを1つ下げ墓地からステイ―

ラーを特殊召喚！そしてステイラーを手札に戻して「A・ジェネクス・バードマン」を特殊召喚！そしてリバースカードオープン！魔法カード【魔法石の採掘】！この効果により手札から【ボルト・ヘッジホッグ】と先ほど手札に戻した【レベル・ステイラー】を捨て【グローアップ・バルブ】の効果で墓地に送られた【死者蘇生】を手札に加える！そしてさらに【トラゴエディア】のLvを1つ下げ墓地から【レベル・ステイラー】を特殊召喚！行くぞ！Lv4となった【トラゴエディア】にLv3【A・ジェネクス・バードマン】をチューニング！黒薔薇の竜よ…俺にすべてを無に化す力を与えよ！シンクロ召喚！咲き乱れよ！【ブラック・ローズ・ドラゴン】！」

史上最凶のリセットモンスター、「ブラック・ローズ・ドラゴン」

……

この竜を使ってる十六夜アキッて随分16という数字に縁があるらしい…俺は知らんけど

「【ブラック・ローズ・ドラゴン】の効果！このカードのシンクロ召喚時フィールド場に存在するすべてのカードを破壊する！」

「な……にい…？そんな馬鹿げた効果があるのか…」

「すべてを無に化す憎しみの暴走！ブラック・ローズ・ガイル！」

フィールド場のあらゆるカードが全滅……これで海馬社長のフィールドはがら空きだ！！

「そしてさっき手札に加えた魔法カード【死者蘇生】を発動。この効果により墓地から【シューティング・スター・ドラゴン】を特殊召喚！これで終わりだ！【シューティング・スター・ドラゴン】で

ダイレクヤタック
直接攻撃！！スターダスト・ミラージュ！！」

これで……俺の勝ちだ！！

「手札から【速攻のかかし】の効果発動！直接攻撃してきた時手札のこのカードを捨てバトルフェイズを終了させる！！」

「くそ！俺はリバーズカード1枚をセットしてターンエンド！」

仕留め切れなかった…

「俺のターン、ドロー！手札から魔法カード【命削りの宝札】を発動！このカードの効果により手札が5枚になるようにドローし5ターン後すべての手札を墓地に送る！」

また手札補充のチートカードかい！！
いい加減にしろ！この世界の禁止制限！

「……ふふふふ、ははははは！！この手札で貴様を葬る…手札から魔法カード【早すぎた埋葬】を発動！ライフを800払い墓地からフルアイズ アルティメットガン
【青眼の究極竜】を特殊召喚！」

海馬 LP2500

「さらに装備魔法【巨大化】により攻撃力を2倍にする！」

「……こ、攻撃力9000！！？」

「そんな！まさか兄さんの【サイバー・エンド・ドラゴン】を超える攻撃力を出すなんて！！」

「これが伝説の決闘者……海馬瀬人の実力……」
デュエリスト

確かに攻撃力9000は驚いた……

ただ海馬社長はまだ何かするつもりだぞ！

「さらに【エキセントリック・ボーイ】を召喚！効果により手札のモンスターでシンクロ召喚できる！俺は手札のLv4【ブレイドナイト】とフィールドのLv3【エキセントリック・ボーイ】をチェーンング！聖なる森に潜みし竜よ！我が青眼の最強の力を手に入れる為の糧になれ！シンクロ召喚！【エンシェント・フェアリー・ドラゴン】！そして魔法カード【受け継がれし力】を発動！これでエンシェント・フェアリーを生贄にして【青眼の究極竜】の攻撃力をエンドフェイズまで2100ポイントアップする！これで攻撃力は11100！！」

攻撃力……10000越え……でも……

「最後は盛大な攻撃で終わらせてやる！！【青眼の究極竜】で【シューティング・スター・ドラゴン】に攻撃！！スーパー・アルティメット・バースト・ストリーム！！」
ブルサイズ アルティメットドラゴン

……お前は馬鹿だ！！

「【シューティング・スター・ドラゴン】の効果を忘れたか！！相手モンスターの攻撃宣言時、このカードを除外する事で相手モンスターの攻撃を無効にする！！」

「しま……」

「そしてエンドフェイズ時【シューティング・スター・ドラゴン】を特殊召喚！！そして俺のターン、ドロー！……俺はこれにかけるぜ！手札から魔法カード【アドバンスドロー】を発動！フィールドの【シューティング・スター・ドラゴン】を生贄にして2枚ドロー！さらに魔法カード【貪欲な壺】を発動！墓地から【シューティング・スター・ドラゴン】【グローアップ・バルブ】【スターダスト・ドラゴン】【ブラック・ローズ・ドラゴン】【フォーミュラ・シンクロン】をデッキに戻しシャッフル！そして2枚ドロー！手札の【ダンディライオン】を墓地に送って【THEトリッキー】を特殊召喚！【ダンディライオン】の効果でフィールドに【綿毛トークン】を2体生成！トリッキーのLvを1つ下げ墓地からステイラーを特殊召喚！そして【スポーア】を召喚！」

これで準備は整った！！

「Lv4となった【THEトリッキー】にLv1の【スポーア】をチューニング！科学の英知よ！ここに現れ勝利の方程式の礎となれ！シンクロ召喚！【TG ハイパー・ライブラリアン】！！そして墓地の【スポーア】の効果発動！墓地の植物族モンスター【ダンディライオン】を除外して【スポーア】を特殊召喚！この時特殊召喚された【スポーア】は除外した植物族モンスターのLvを得る！Lv1となった【レベル・ステイラー】にLv4となった【スポーア】をチューニング！正義の名を持つ無慈悲なる機械！ここに解き放て！シンクロ召喚！【A・O・Jカストル】！ハイパー・ライブラリアンの効果で1枚ドロー！手札から魔法カード【二重召喚^{デュアルサモン}】を発動！そして【グローアップ・バルブ】を召喚！Lv1【綿毛トークン】にLv1【グローアップ・バルブ】をチューニング！アクセル全開！！トップスピードでこの決闘場を駆け抜ける！シンクロ召喚！希望の力【フォーミュラ・シンクロン】！ハイパー・ライブラリアンと【フォーミュラ・シンクロン】の効果で2枚ドロー！」

……オーバー・トップ・クリア・マインド……！！

「Lv5【TG ハイパー・ライブラリアン】とLv5【A・O・Jカストール】にLv2【フォーミュラ・シンクロン】をチューニングー！！集いし星が絆が1つになる時、新たな絆が未来を照らす！光さす道となれ！リミット・オーバー・アクセルシンクロー！！」

「なっ……！！デュエルディスクが……オーバーヒート寸前になるまでのシンクロ召喚だと……！！？」

確かに俺のデュエルディスクがプスプス煙を上げているし変な音がするがそれでも俺はもう止められない……！！

「進化の光……！！【シューティング・クエーサー・ドラゴン】……！！」

これが俺の切り札だ……！！

「……ふっ、多少は驚いたがどんなシンクロ召喚してもこの青眼に勝てるモンスターなぞいないか……」

「それはどうか？手札から【融合】発動！手札の【真紅眼の黒竜】レッドアイズ ブラックドラゴン【真紅眼の闇竜】レッドアイズ ダークネストドラゴン【ダークフレア・ドラゴン】レッドアイズ ワイバーン【真紅眼の飛竜】レッドアイズ フライフロッパー2体を融合！現れる！【F・G・D】ファイブゴッター ドラゴン……！！さらに魔法カード【受け継がれる力】を発動！【F・G・D】を生贄にして【シューティング・クエーサー・ドラゴン】の攻撃力をエンドフェイズまで5000ポイントアップ……！！」

「攻撃力が……並んだ……」

ブルアイス アルティメドラゴン

【青眼の究極竜】 攻撃力9000

【シューティング・クエーサー・ドラゴン】 攻撃力9000

「バトル！【シューティング・クエーサー・ドラゴン】で究極竜にアルティメドラゴン攻撃！！天地創造撃ザ・クリエーションバースト！！」

「くっ！迎え撃て！究極竜！！スーパー・アルティメット・バースト！！」

お互いのモンスターは相打ち……

これでターン終了かと…思ったら大間違いだぜ！！海馬社長！！

「【シューティング・クエーサー・ドラゴン】の効果！！このカードがフィールドから離れた時エクストラデッキから【シューティング・スター・ドラゴン】を効果を無効にして特殊召喚！！」

「クルアアアアアア！！！！」

「そんな……馬鹿な…この俺が遊戯や天城サクラ以外に負けるとい
うのか……」

天城サクラ？……後で話を聞かせてもらおうか…

「【シューティング・スター・ドラゴン】で直接攻撃！！ダイレクトアタック【スター
ダスト・ミラーージュ】！！」

「ぐわああああああああ！！！！！！」

海馬 LP - 800

勝った……

「勝ったぞおおおおお！……！」

「「「「「……わあああああああ！……」「」「」「」

勝った……俺は……海馬社長に……

勝ったぞ……！！

第9話 歴代ドラゴン集結！青と真紅と五竜の宇宙 後編（後書き）

という訳でVS海馬終了！！

さすがの魁も海馬社長が相手だとリアルな意味の方でガチデッキを使う…

一応タイトル通り、青と真紅と五竜と宇宙を出せてよかった…

では次回予告！

おい、天城サクラ

少し聞きたいことがある

お前は… ippitai…

次回！【衝撃の真実！！原作はすでに崩壊していた】

どういう内容か簡単に予想できるけど次回もお楽しみに！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3776z/>

遊戯王GX ルールを守って楽しく決闘！

2011年12月20日18時47分発行